SONY

インフォメーション ナビシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および別冊の取付説明書と接続説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書および別冊の取付説明書と接続説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

naviken VICS GPlex

NVX-W1

NVX-FW1

© 1998 by Sony Corporation

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および取付説明書と接続説明書の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。
- ナビゲーションでのルート案内時は、一方通行など実際の交通規制に従って運転する。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

❶ 安全な場所に車を止める
❷ 電源を切る
❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および取付説明書と接続説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

正しい取付け
正しい操作で
安全運転

目次

⚠警告／⚠注意 4

ここだけ読んでも使えます

準備 5
リモコンとメニューの使いかた 6
現在地を表示する／地図を動かす 8
自宅を登録する 9
目的地まで道案内させる 12
自宅に帰る 15
道案内の流れ 16

地図画面上でメニュー操作する（決定メニュー）

目的地を設定してルートガイドを行う 18
マークをつける 19
最寄りのコンビニエンスストアなどへの道案内をさせる 20
地図画面を3Dビューにする 22
地図画面を回転させる 23
主な情報を見る 24

ルートガイドを使いこなす（ルートメニュー）

出発地や経由地を設定して計画に沿ったルートを探す 25
ルート探索を始める 30
設定したルートを呼び出す 32
ルート名や保存指定を変える（ルート編集）..... 33
ルート情報を見る 34
帰り道を案内させる（帰路探索）..... 34
探索条件を変更する 35
ルートガイドを終了/再開する 37
ルートガイド中の便利な機能 38
「ルート探索に失敗しました」と表示されたら ... 42

より早く目的地を探す（検索メニュー）

最寄りのコンビニエンスストアなどを表示する 44
マーク登録した友人宅などの位置を呼び出す .. 46
電話番号で探す 47
住所で探す 48
施設名などから探す 50
緯度経度から探す 50
いろいろな情報から探す（別売りディスク使用時）..... 51

いろいろな情報を見る（情報メニュー）

VICS 交通情報を見る 52
VICS 図形情報を見る 54
VICS 文字情報を見る 55
FM文字多重放送を見る 56
インターネットに接続する 57

設定と調整（システムメニュー）

登録したマークの名前などを変える（マーク編集）..... 65
マークや走行軌跡などの表示を切り換える 72
GPS衛星の受信状態を見る 73
自律航法機能の動作を確認する 75
地図ディスクの情報を見る 76
システムの設定 77
VICSの設定 79
よく使う機能をカスタムメニューに登録する 82
モニターの設定 84
FM選局の設定 85
3Dビュー画面の角度の設定 89
自車位置を修正する 90
画面の位置を微調整する 91
インターネットの設定 92

テレビを見る（NVX-W1のみ）..... 98

その他

誤差について 99
使用できる地図ディスクについて 101
メニューの種類について 103
VICSについて 104
ご注意/お手入れ 107
メッセージが出たら 109
故障かな？と思ったら 111
保証書とアフターサービス 112
主な仕様 113
用語集 114
機能別索引 115
索引 117

警告

火災

感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けには専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の取付説明書と接続説明書の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。

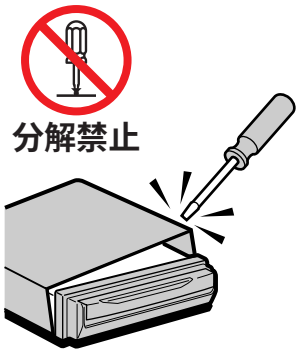
前方の視界を妨げる場所に、モニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となることがあります。
また、取り付ける場所が、助手席用エアバッグシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。

分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となることがあります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



準備

取り付けと接続はお済みですか？
別冊の取付説明書と接続説明書をお読みください。

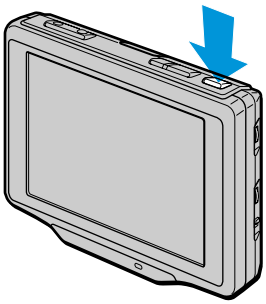
1 エンジンをかける

本機の電源は、車のキーがONの位置で入ります。

2 モニターの電源を入れる

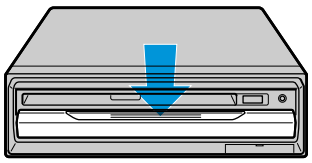
モニターに初期画面が表示されます。

この取扱説明書はNVX-W1およびNVX-FW1共通です。
NVX-FW1は、モービルカラーテレビを付属しています。NVX-W1をお買い求めのお客様は、ご使用のモニターの取扱説明書をご覧ください。



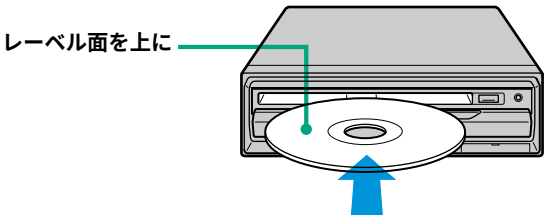
3 付属の地図ディスクを入れる

1 地図ディスクプレーヤーのフロントカバーを開ける



2 地図ディスクを入れる

ディスクを軽く押すと、自動的に引き込まれます。



ディスク情報画面が表示されたあと、自動的に地図画面になります。

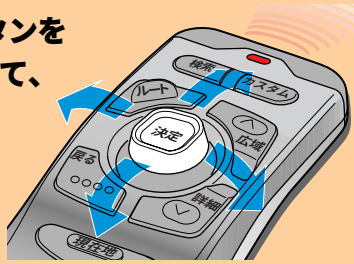
使い終わったら
車の電源をOFFにすると、本機の電源が自動的に切れます。

リモコンとメニューの使いかた

メニューの選びかた

① 各ボタンを押して、それぞれのメニューを表示します。

② カーソル/決定ボタンを上下左右に動かして、項目を選びます。



NVX-FW1のリモコンは、モニターのリモコン受光部に向けてください。
NVX-W1のリモコンは、専用のリモコン受光部を取り付けて（接続説明書参照）、そこに向けてください。

地図のときに、リモコンの各ボタンを押すと、それぞれのメニュー画面が表示されます。
詳細は（　）内のページをご覧ください。

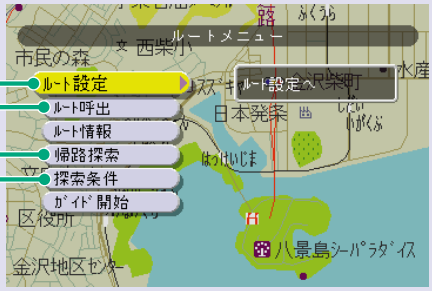
道案内をさせたいとき（ルートメニュー→25）

出発地/目的地/経由地/を設定する（25〜29）

設定したルートを呼び出す（32）

帰り道を案内させる（34〜35）

高速道路やフェリーの使用/不使用などを選ぶ（35〜37）



地図画面から操作したいとき（決定メニュー→18）

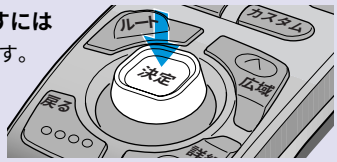
地図の平面/立体を切り換える（22）

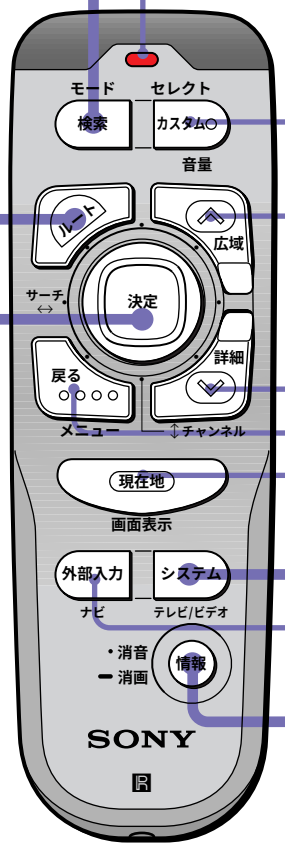
地図の上方向を、常に北にするか、自車の進行方向にするかの切り換え（23）

目的地を設定する（18）

最寄りのコンビニなどを探す（20）

決定メニューを出すには
決定ボタンを押します。





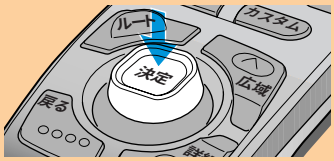
ご注意

NVX-W1のリモコンは、上図のように別売りテレビ操作用の表示や機能（98ページ）があります。
共通の機能について、この取扱説明書では、NVX-FW1のリモコンで説明しています。

サブメニューがあるとき、矢印が出ます。

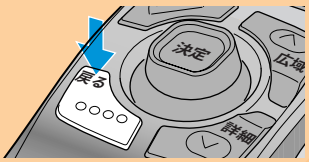
現在選択している項目　サブメニュー

③ カーソル/決定ボタンを押して、決定します。



決定後、メニュー画面に戻るには

戻るボタンを押します。



すばやく地点を探すとき（検索メニュー→44）

最寄りのコンビニなどを表示する（44）

電話番号/住所/施設名から探す（47〜50）

設定や調整をしたいとき（システムメニュー→65）

地図につけたマークを編集する（65〜72）

地図に表示する各種情報を設定する（72）

ナビの各種設定（77〜91）

VICS情報やインターネットを見たいとき（情報メニュー→52）

VICS情報を見る（52〜55）

FM文字多重放送を見る（56）

インターネットを見る（別売りユニット接続時）（57）

LED（108）
操作ボタンを押すと点滅します。電池が消耗すると、点滅が弱くなります。

カスタムボタン（82）
よく使うメニュー項目を登録し、まとめて表示します。

ズームボタン（9）
地図の縮尺を拡大、縮小します。

戻るボタン
押すと、各メニュー画面に戻ります。

現在地ボタン（8）
押すと、どの画面からでも現在地の地図画面になります。

外部入力ボタン
テレビやビデオを見るとき押します。

ちょっと一言

- メニュー画面から地図画面に戻りたいときは、現在地ボタンを押します。
- 地図画面で各々のメニューボタンを2秒以上押すと、前回選んだメニューが表示されます。ただし、決定メニューでは前回選んだメニューは表示されません。

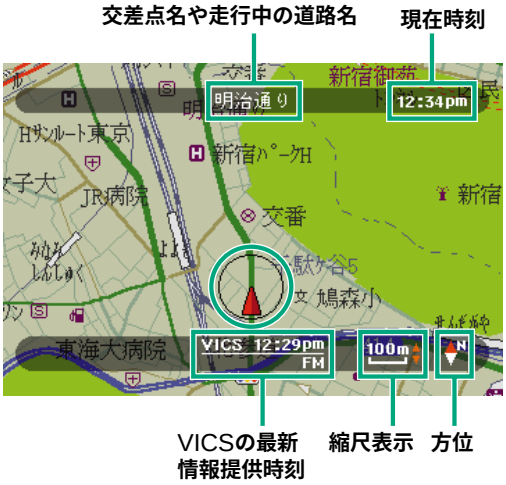
現在地を表示する/地図を動かす

地図上に現在地を表示する

自車マークの見かた

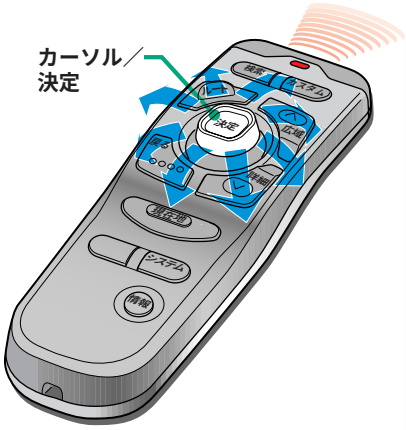
- 正常に測位を行っています。
- 自律センサーだけで測位しています。（GPS衛星からの電波は受信していない）
- 測位できていません。

現在地ボタンを押す



車が進むと、自車マークは固定され、地図が自動的にスクロールします。

自分で地図を動かす（スクロールする）



自分でスクロールしているときは

車が進んでも、地図が自動的に動きません。

カーソル/決定ボタンで動かす

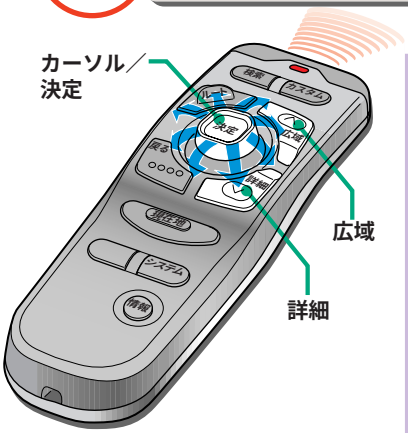
動かした方向（8方向）に地図がスクロールします。

スクロールすると、画面中央に表示されます。

自宅を登録する

地図上で自宅を探し、マークとして本機に登録しておくと、いつでも自宅位置を呼び出すことができます。

1 地図上で自宅を探す



1 広域/詳細ボタンを押して、探しやすいスケールにする

さらに詳細／広域地図があるとき、マークが出ます

2 カーソル/決定ボタンで地図をスクロールして、自宅を探す

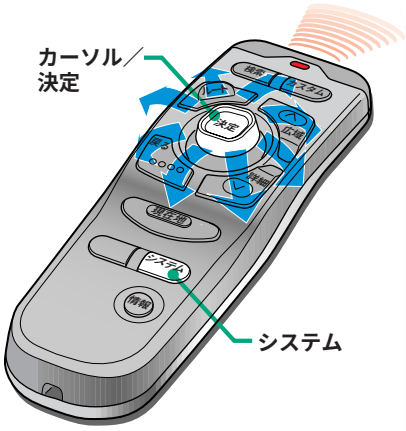
2 自宅をマーク登録する

自宅の位置にマークを設定し、マークの種類を「自宅」と登録します。

1 地図上の自宅位置に＋を合わせ、カーソル/決定ボタンを押す

決定メニューが表示されます。

次ページへつづく



2 カーソル/決定ボタンを動かして、メニュー上の「マーク設定」を選び、ボタンを押す

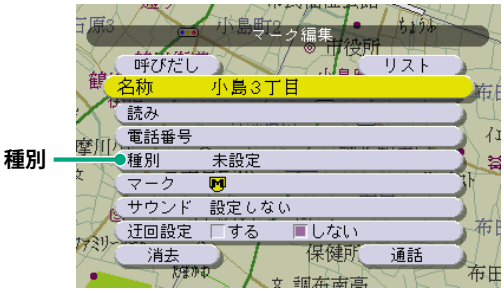
＋の中心にⓂがつき、マークとして自動的に登録されます。

3 リモコンのシステムボタンを押して、システムメニュー上の「マーク編集」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

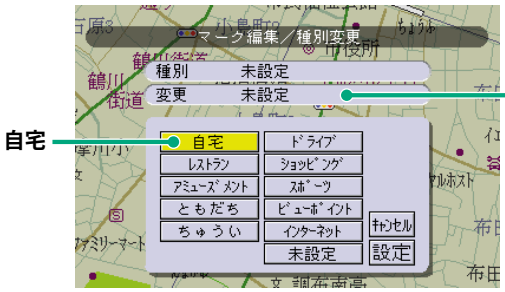
4 サブメニューの「すべて」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

「自宅」マーク登録は1か所です
新しく登録し直すときは、自宅登録されているマークを消去して、改めて登録してください。

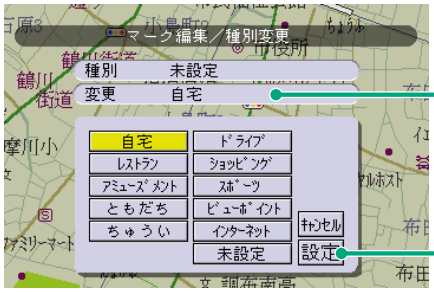
5 マークリストから自宅用につけた項目を選び、カーソル/決定ボタンを押す



6 「種別　未設定」を選択し、カーソル/決定ボタンを押す

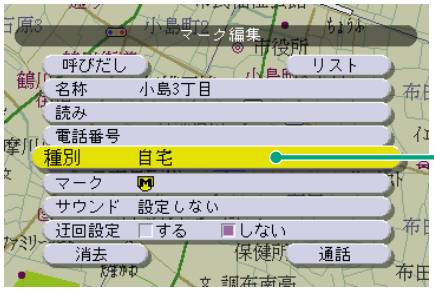


7 「自宅」を選び、カーソル/決定ボタンを押す



8 「設定」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

マーク編集画面に戻り、種別の欄に「自宅」が入ります。



「自宅」マークのイラストを変更することもできます。
詳しくは、「シンボルを変更する」（71ページ）をご覧ください。

目的地まで道案内させる

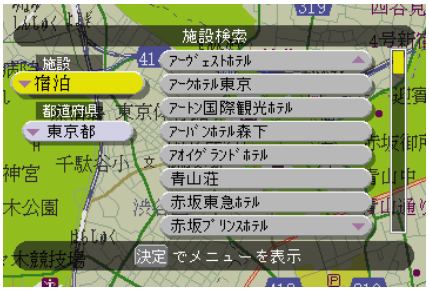
検索機能を使って目的地を設定し、道案内をさせてみましょう。
ここでは、「横浜八景島シーパラダイス」を目的地にします。

1 目的地を検索する

1 検索ボタンを押し、検索メニューを表示する

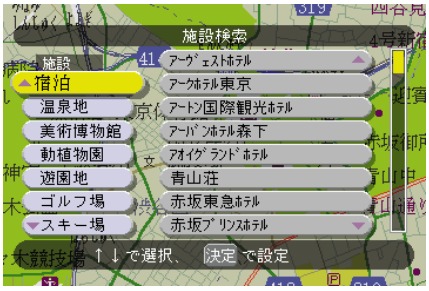
2 カーソル/決定ボタンで「施設」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

「施設」画面になります。



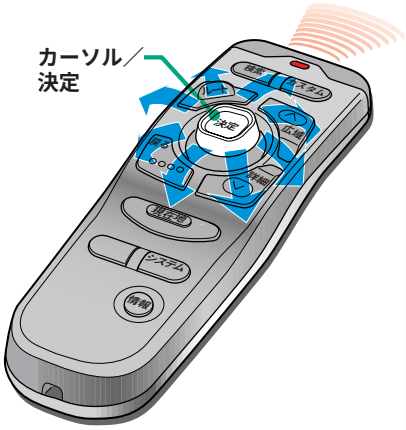
3 「施設」欄を選び、カーソル/決定ボタンを押す

施設の項目が表示されます。



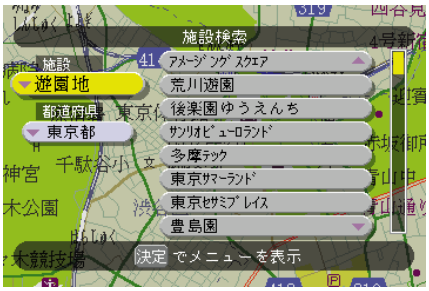
ご注意

地図ディスクによって検索項目や検索方法が異なります。
市販のディスクをご使用の場合は、ディスクに付属の取扱説明書をご覧ください。



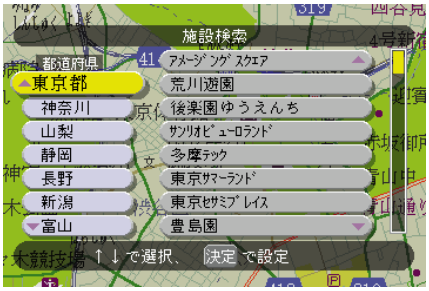
4 「遊園地」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

右側に遊園地のリストが表示されます。

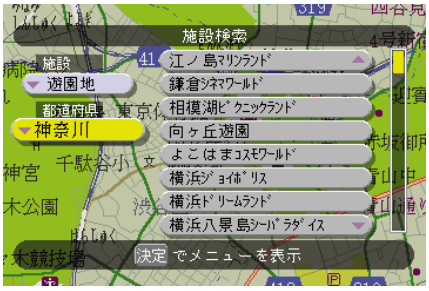


5 「都道府県」欄を選び、カーソル/決定ボタンを押す

都道府県名のリストが表示されます。



6 「神奈川」を選び、カーソル/決定ボタンを押す



7 右側から「横浜八景島シーパラダイス」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

横浜八景島シーパラダイス周辺の地図になります。

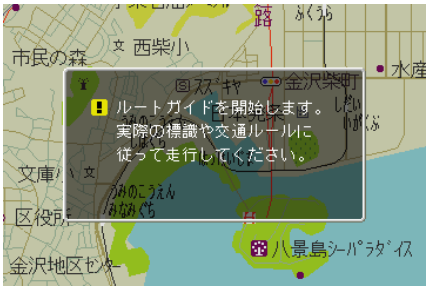
2 道案内させる

1 地図上の＋マークを横浜八景島シーパラダイスに合わせて、カーソル/決定ボタンを押す

決定メニューが表示されます。

2 「目的地設定」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

自動的にルート探索が始まり、全ルートを表示してから、道案内を始めます。



（全ルート表示）

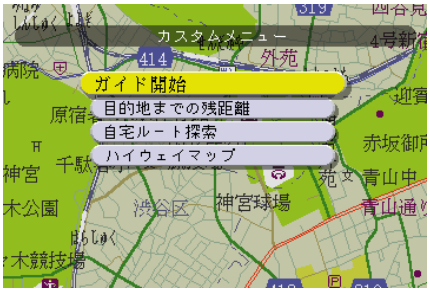
ちょっと一言

ルート探索中に、ルートボタンを押すと、探索条件を変えることができます。
高速道路優先などの探索条件を変えて、同じ目的地に対して3種類のルートを探索することも可能です。
詳しくは、「探索条件を変更する」（35ページ）をご覧ください。

自宅に帰る

ここでは、9ページの手順で登録した自宅マークを利用して、自宅までの道案内をさせます。
あらかじめカスタムメニューに「自宅ルート探索」を登録しておきます。詳しくは、「よく使う機能をカスタムメニューに登録する」（82ページ）をご覧ください。

1 カスタムボタンを押し、カスタムメニューを表示する



2 カーソル/決定ボタンで「自宅ルート探索」を選び、ボタンを押す

自動的に自宅までのルート探索が始まり、全ルートを表示してから、道案内を始めます。

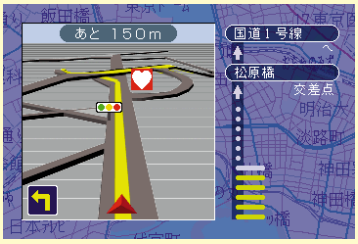
ルート探索中です。
しばらくお待ちください。

（全ルート表示）

ここだけ読んでも使えます

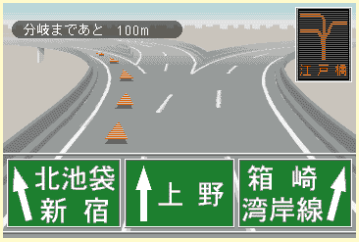
道案内の流れ

あなたが決めた目的地に向かって、参考ルート（道順）を画面に表示します。あとはそのルートに沿って走るだけです。



交差点では
音声と矢印、交差点拡大表示で曲がる方向をお知らせします。
地図上には、参考ルートが破線で表示されます。

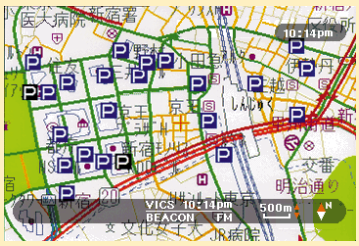
高速道路では



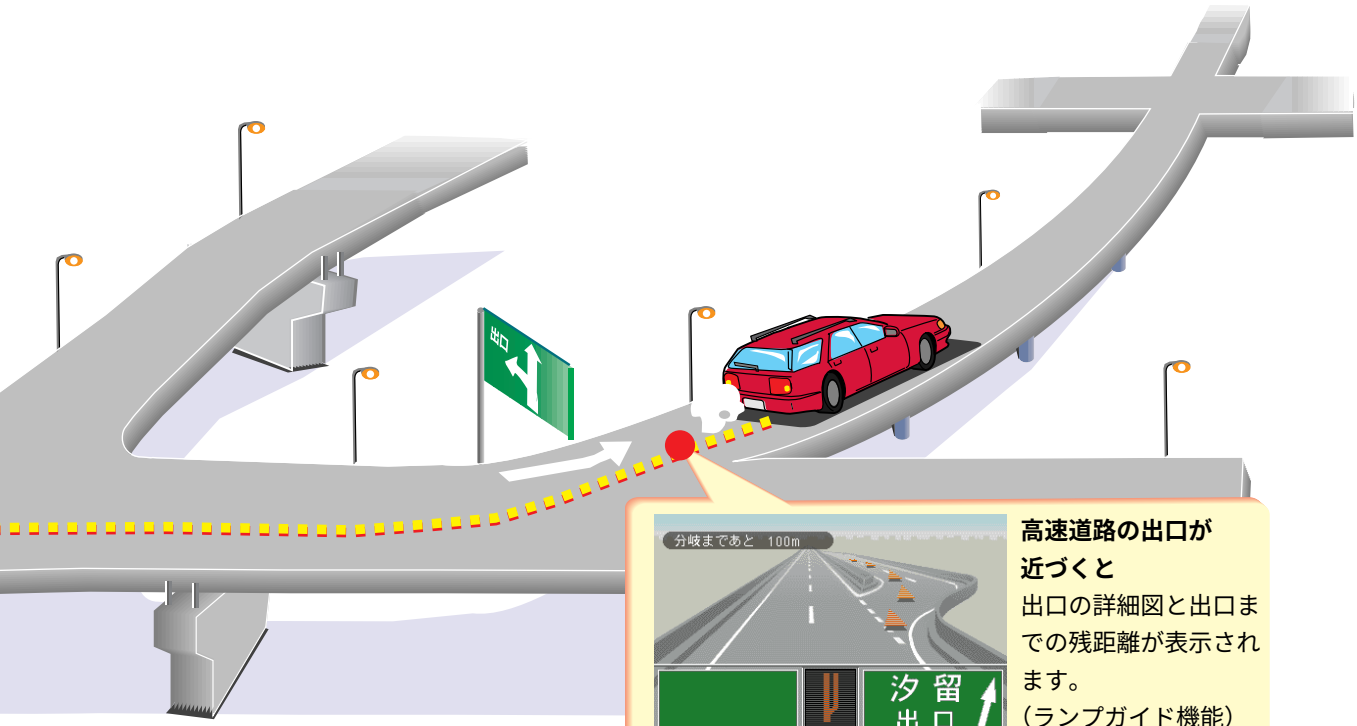
分岐点が近づくと
詳細図を表示し、進行方向をお知らせします。
（ジャンクションガイド機能）

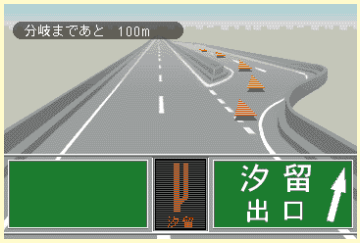
高速道路では
インターチェンジやサービスエリアなどの情報を表示します。
（ハイウェイマップ機能）

道を間違えても
現在地は一目瞭然。しかも、もとの参考ルートへ戻るルートを表示します。



渋滞、工事中、駐車場の混雑などは
VICS機能搭載なので、リアルタイムの情報が入手できます。





高速道路の出口が近づくと
出口の詳細図と出口までの残距離が表示されます。
（ランプガイド機能）

地図画面上でメニュー操作する（決定メニュー）

現在表示している地図画面上で目的地を設定したり、マークをつけておくなどの操作を行います。
決定ボタンを押すと、メニュー項目が表示されます。

目的地を設定してルートガイドを行う

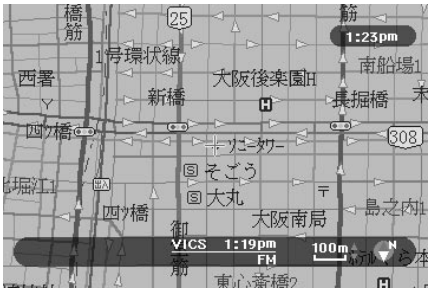
探索条件を変えるには
ルート探索中にルートボタンを押すと、探索動作を中止し、探索条件設定画面が表示されます。

ご注意

- 次のような場合には自動ルート探索は実行できず、エラーメッセージが表示されます。
  - 自動経路探索機能に対応したナビ研S規格の地図ディスクを使用していない。
  - 目的地が遠すぎる。
  - 目的地がディスクの自動経路探索機能のデータ範囲外にある。
- マップマッチングが働いていないときや、ナビ研S規格以外の地図ディスクが使われているときは、シンプルガイドになります（39ページ）。

地図画面上でカーソル（＋マーク）を移動して目的地を探し、カーソル位置を目的地に設定すると、自動的に目的地までのルート探索を行い、ルートガイドを始めます。

1 地図画面上で目的地に設定したい位置にカーソル（＋マーク）を移動する



2 カーソル/決定ボタンを押す

決定メニューが表示されます。

3 「目的地設定」を選び、決定する

カーソル位置が目的地に設定され、自動的にルートガイドが始まります。

マークをつける

ドライブ中に見つけたレストラン、景色のよかった場所、友人の家など覚えておきたい場所を、地図にマークをつけて登録できます。250か所までつけることができます。

- マークを付けた場所は、後から検索メニューのマークリストから呼び出したり、システムメニューでシンボルを変えるなどのマーク編集ができます。
- マークをつけた場所は、地図ディスクを入れ換えても、そのまま表示されます。

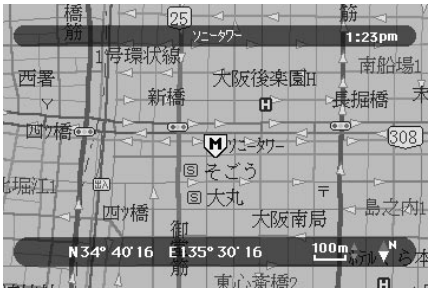
1 マークをつける場所を探し、カーソル（＋マーク）を合わせる

2 カーソル/決定ボタンを押す

決定メニューが表示されます。

3 「マーク設定」を選び、決定する

＋マークの中心にⓂマークがつきます。



マークをつけた地点はマークリストに自動的に登録されます。

ちょっと一言

マークの名前を変えたり、地図上に表示するシンボルを変更するには、「登録したマークの名前などを変える」（65ページ）をご覧ください。

最寄りのコンビニエンスストアなどへの道案内をさせる

ドライブ中に、近くのコンビニエンスストアやレストランなどに立ち寄りたくなったとき、最寄りデータを地図画面上に表示させて、目的の場所にルートガイドさせることができます。

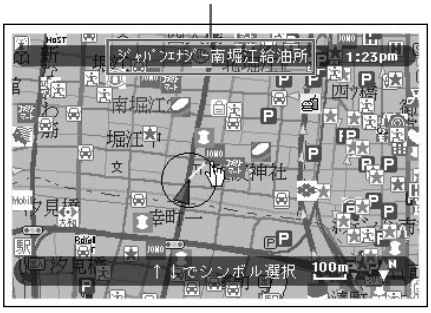
1 カーソル/決定ボタンを押す

決定メニューが表示されます。

2 「最寄り検索」を選び、決定する

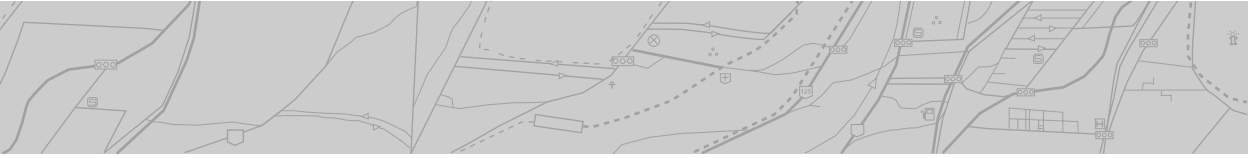
地図ディスクに記録されているすべての種類の最寄りデータのマークが表示されます。

選んでいるデータの名称



最も近い最寄りマークが選ばれ（指マーク）、中央になるように地図画面が切り換わります。（自車マークからの方向が直線で表示されます。）

3 他のシンボルを選ぶには、カーソル/決定ボタンを上下に押す（または広域/詳細ボタンを押す）

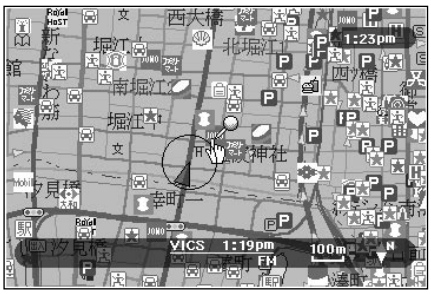


ご注意

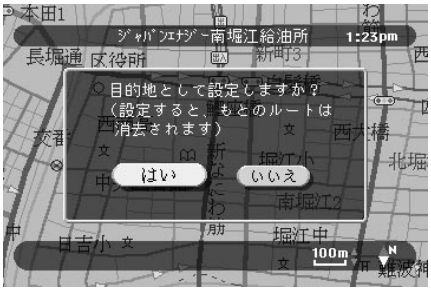
- 決定メニューからの最寄り検索は、付属の地図ディスク使用時のみ実行できます。
- 最寄り設定画面は、200m以下のスケールになります。地図の拡大、縮小、スクロールはできません。
- 200mスケールに収まらない最寄りポイントが選択された場合、自車マークが画面の外になる場合があります。
- 最寄り地点へのルートガイドを行うと、元のルートは消去されます。

4 カーソル/決定ボタンを押す

選択された最寄りマーク位置が表示されます。

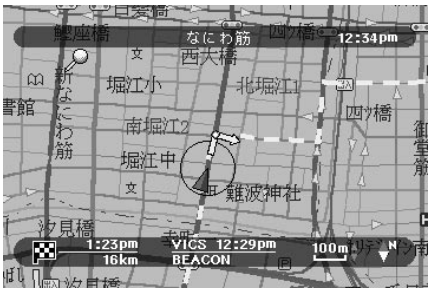


ルートガイド中に決定ボタンを押すと、次のような確認画面が表示されます。



「はい」： 現在のルートガイドを中止し、最寄り地点へのルートガイドになります。

「いいえ」： 現在のルートガイドを継続し、最寄りポイントにピンマークが表示されます。

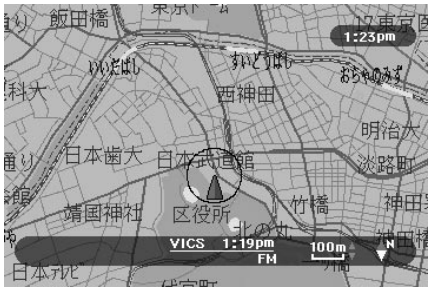


地図画面を3Dビューにする

自車マークが地図上にあるとき、地図を3Dビュー画面にすることができます。

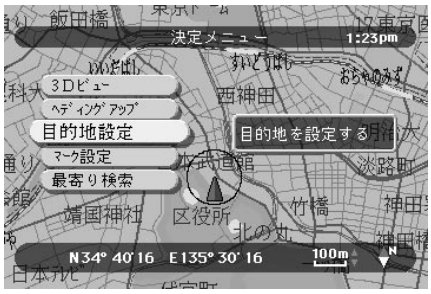
1 現在地ボタンを押し、自車マークを表示する

オートスクロールモードになります。



2 カーソル/決定ボタンを押す

決定メニューが表示されます。

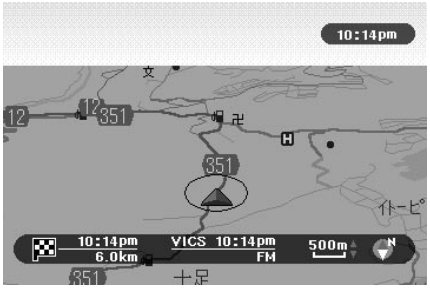


3 「3Dビュー」を選ぶ

地図画面がすでに3Dビューになっているときは、「スタンダードビュー」を選んで元のスタンダードビュー画面に戻すことができます。

4 カーソル/決定ボタンを押す

3Dビュー地図画面になります。

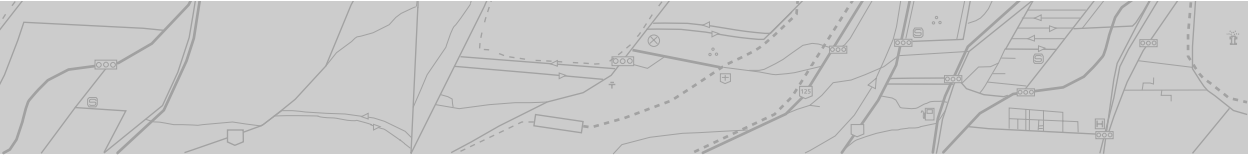


ご注意

- オートスクロールモード（自動的に地図が動く）ときにのみ、「3Dビュー」が表示されます。
- 3Dビュー画面では、地図画面は常にヘディングアップ（次項参照）になります。
- 3Dビュー画面のとき、カーソルボタンで地図を動かす（スクロールする）と、自動的にスタンダード画面になります。3Dビュー画面に戻るには、現在地ボタンを押します。
- 画面右下の縮尺表示は、自車マーク位置の縮尺です。
- スタンダードビュー画面を3Dビュー画面にすると、地図の手前側の縮尺が約2倍になり、スケール表示も変化します。

ちょっと一言

- 3Dビュー画面の地図の傾斜角度を変えることができます（89ページ）。
- 「システム設定」（77ページ）の「地図カラー自動切り換え」を「する」に設定すると、日の出、日没付近の時間帯には、空の色が変化します。



地図画面を回転させる

スタンダードビュー地図のとき、地図の方向は、次のどちらかに設定できます。（3Dビュー画面は常にヘディングアップになるので、この設定はできません。）

- ノースアップ（常に北を上に固定する）
- ヘディングアップ（自車の進行方向が常に上になるように自動的に回転させる）

1 カーソル/決定ボタンを押す

決定メニューが表示されます。

2 「ノースアップ」または「ヘディングアップ」を選ぶ

3 カーソル/決定ボタンを押す

ちょっと一言

ノースアップのとき「ヘディングアップ」、ヘディングアップのとき「ノースアップ」と表示されます。

主な情報を見る

地図画面上でカーソル（＋マーク）を重ねたとき、指マークが表示される場所には、地図情報やマークなどの情報があります。
指マーク表示状態で決定ボタンを押すと、マーク位置の情報を見ることができます。

1 地図画面上で、カーソル（＋）が指マークに変わる位置に移動する

マークやシンボルに重ねます。

2 カーソル/決定ボタンを押す

決定メニューが表示されます。

3 「インフォレイヤ」を選ぶ

4 カーソル/決定ボタンを押す

指マークで表示されるのは、次の4項目です。

マーク編集：「マークをつける」（19ページ）でマークした地点です。マーク編集画面になります（65ページ）。

インフォレイヤ：地図ディスクに記録された文字情報（住所や電話番号）を表示します。

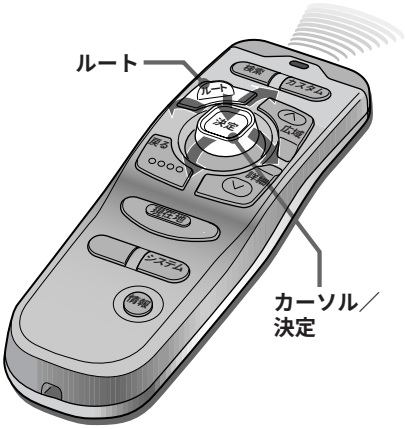
VICS：VICSの文字情報を表示します。

ネットスタンプ：インターネット上のMobileLink（モバイルリンク）ホームページからダウンロードした情報を表示します。

ルートガイドを使いこなす（ルートメニュー）

「目的地」、「経由地」、「出発地」を個別に設定して、計画に沿ったルートでドライブを楽しむことができます。
探索時には、3種類の異なる探索条件で、複数のルートを同時に探索することもできます。
ルートボタンを押すと、メニュー項目が表示されます。

出発地や経由地を設定して計画に沿ったルートを探す

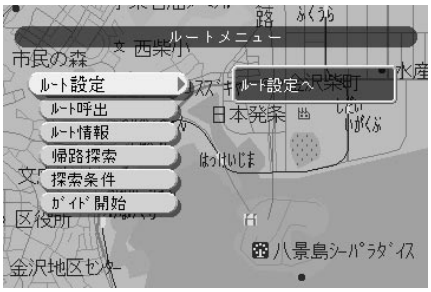


「ルート設定」を選ぶと、目的地だけでなく、出発地や経由地を指定して、新規ルートを作成することができます。経由地は10か所まで設定できます。
設定されたルートは15ルートまで自動的に保存され、以降は古いものから順に消去されます。
「ルート編集」画面で保存を指定し、自動的に消去されないように保護することもできます。（33ページ）

目的地を決める

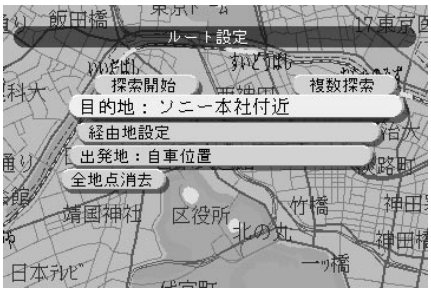
1 **ルートボタンを押す**

ルートメニューが表示されます。



2 **「ルート設定」を選び、決定する**

「ルート設定」画面が表示されます。



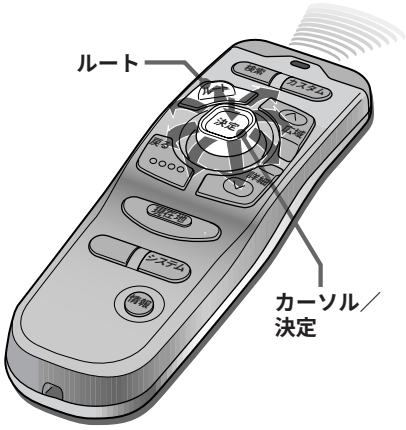
ご注意

次のような場合には自動ルート探索は実行できず、エラーメッセージが表示されることがあります。
ー経由地を細街路の行き止まりなどに設定したとき
ー目的地を出発地に近いところに設定したとき

ちょっと一言

「目的地」「経由地」「出発地」を有料道路に設定すると、¥（有料）マーク（緑色）が表示されます。

次ページへつづく



3 「目的地」を選び、決定してから、地図上で目的地を探す

カーソルボタンで、＋マークを「目的地」に合わせます。

4 カーソル/決定ボタンを押す

＋マークが旗マークに変わり、目的地が設定されます。

「ルート設定」画面に戻ります。

経由地を決める

目的地までのルートを探すとき、経由したい地点がある場合は、経由地を設定します。（10か所まで）

1 ルートボタンを押す

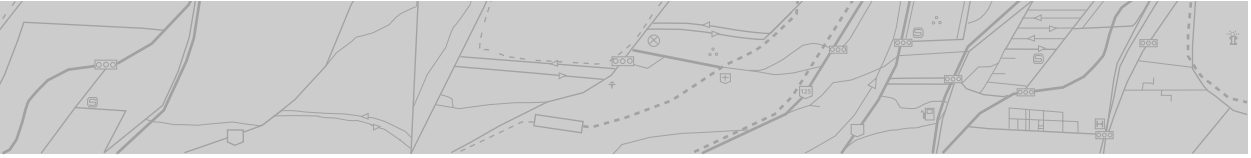
ルートメニューが表示されます。

2 「ルート設定」を選び、決定する

「ルート設定」画面が表示されます。

ちょっと一言

- 出発地、経由地、目的地は、どの順序でも設定できます。
- 複数の経由地を設定した場合は、経由地1、経由地2、経由地3の順にルート探索を行います。
- すべての経由地を設定する必要はありません。



3 「経由地設定」を選び、決定する

「経由地設定」画面が表示されます。

4 「経由地1」を選び、決定する

「経由地1」がすでに設定されている場合は、「消去しますか？」と確認画面が表示されます。「はい」を選ぶと経由地を消去して手順3に戻り、「いいえ」を選ぶと手順5に進みます。

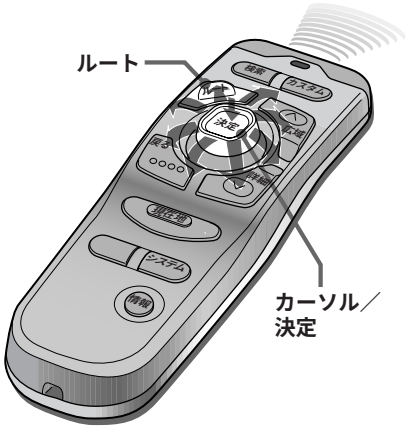
5 カーソルボタンで、＋マークを「経由地1」に合わせる

6 カーソル/決定ボタンを押す

＋マークが番号旗マークに変わり、「経由地1」が設定されます。

「経由地1」が設定されたあと、「経由地設定」画面（手順3）に戻ります。

次ページへつづく



7 **手順4〜6を行う**

経由地は10地点まで設定できます。

8 **経由地設定後に、戻るボタンを押す（またはメニューの「戻る」を選び、決定する）**

出発地を変更する

自車位置以外からのルートを設定するには、出発地を自車以外に変更します。

1 **ルートボタンを押す**

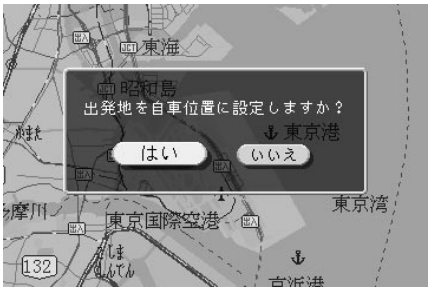
ルートメニューが表示されます。

2 **「ルート設定」を選び、決定する**

「ルート設定」画面が表示されます。

3 **「出発地」を選び、決定する**

次のような確認画面が表示されます。

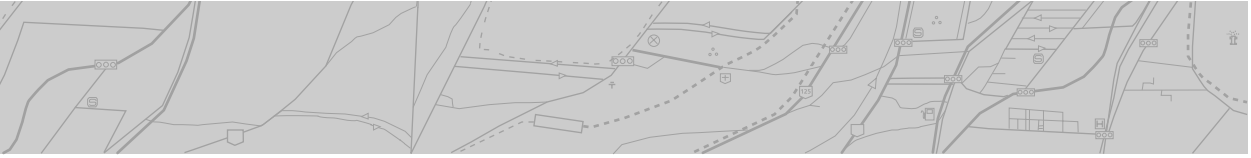


「はい」： 自車位置を出発地に設定します。

「いいえ」：「出発地設定中」画面（手順4）になります。

4 **カーソルボタンで、＋マークを出発地に合わせる**

「出発地設定中」画面になります。



5 **カーソル/決定ボタンを押す**

＋マークが旗マークに変わり、出発地が設定されます。

出発地が設定されたあと、「ルート設定」画面に戻ります。

出発地、経由地、目的地を消去する

選択されたルートの出発地、経由地、目的地のデータをすべて消去することができます。

1 **ルートボタンを押す**

2 **「ルート設定」を選び、決定する**

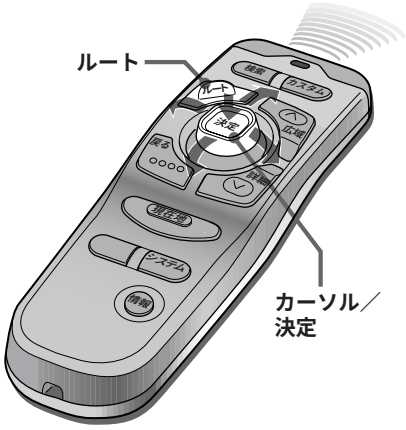
3 **「全地点消去」を選び、決定する**

操作を確認する画面が表示されます。

「はい」： 全地点のデータを消去し、「ルート設定」画面に戻ります。

「いいえ」： データを消去せず、「ルート設定」画面に戻ります。

ルート探索を始める



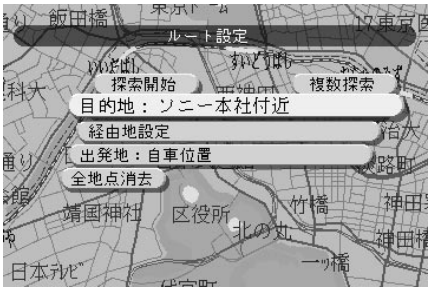
「現在のルート」探索条件（35ページ参照）で、ルートガイドを実行します。

1 ルートボタンを押す

ルートメニューが表示されます。

2 「ルート設定」を選び、決定する

「ルート設定」画面が表示されます。目的地や経由地など必要な地点を設定します。



3 「探索開始」を選び、決定する

地図画面に戻り、ルート探索が開始されます。

⇩

一時的にルート全体を表示する画面が表示され、ルートガイドが始まります。

ルートガイドを中止するには
ルートメニューで「ガイド終了」を選び、決定します。

探索中にリモコンのルートボタンを押すと
探索中のルートの探索条件設定画面になり、設定を変更できます。

全ルート表示中にリモコンの現在地ボタンを押すと
現在選択されているルートでルートガイドが始まります。

複数のルートを探す

ルートメニューの「探索条件」設定画面（36ページ参照）で、複数ルート1〜3のそれぞれに異なる探索条件を設定しておくと、複数のルートを探索して比較し、最適なルートを選ぶことができます。

1 ルートボタンを押す

ルートメニューが表示されます。

2 「ルート設定」を選び、決定する

「ルート設定」画面が表示されます。目的地や経由地などを設定します。

3 目的地設定後、「複数探索」を選び、決定する

地図画面に戻り、ルート1〜3の探索が連続して実行されます。

ルート選択ボタン

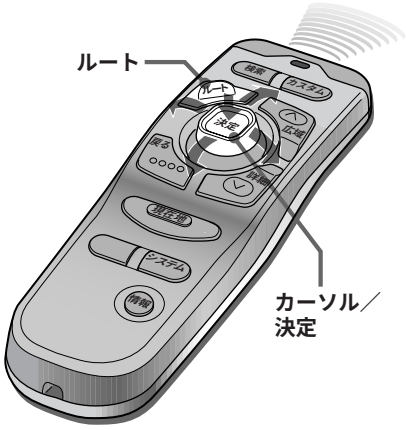
4 探索終了後、画面のルート選択ボタンでルートを選び、決定する

地図画面に戻り、選択したルートのルートガイドが始まります。

ご注意

ルートが1本も探索できなかった場合は、手順2の「ルート設定」画面に戻ります。

設定したルートを呼び出す



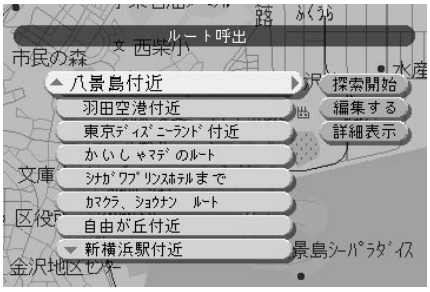
1度設定したルートは、15ルートまで保存されています。ルートを設定したときに毎回自動的に保存され、15ルートを超えると古い順に消去されます。消去したくないルートは「ルート編集」画面で保存指定を行ってください。

1 ルートボタンを押す

ルートメニューが表示されます。

2 「ルート呼出」を選び、決定する

保存されているルート名（目的地の名称）がリスト表示されます。



3 呼び出したいルート名を選ぶ

4 カーソル/決定ボタンを右に倒し、「探索開始」、「編集する」、「詳細表示」のいずれかを選び、決定する

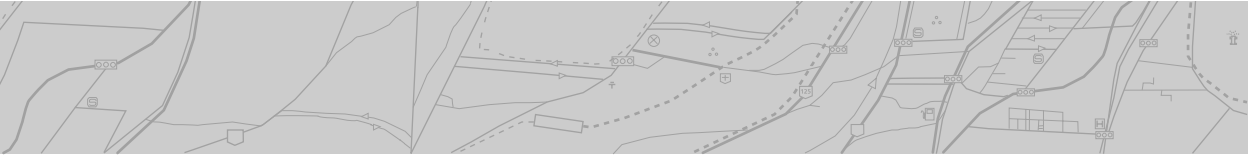
「探索開始」： 選んだルートのデータを使って、自動ルート探索が始まります。

「編集する」：「ルート編集」画面になります。（右項参照）

「詳細表示」： ルート各地点のリスト表示画面になります。

ご注意

ルート探索に使用した地図ディスクと異なるディスクを使ってルート呼出を行うと、同じディスクで探索した場合より時間がかかることがあります。この場合、1度探索を行うと同じ探索時間になります。



ルート名や保存指定を変える（ルート編集）

設定したルートの名称を変更することができます。また、保存指定を「する」にしたルートは、自動削除されません。

ご注意

- 「ルート情報」項目は、ルートガイド中のみ表示されます。
- 次のときは地図画面に戻ります。
  - リルートなどの再探索が行われたとき
  - 目的地に着いたとき

前後にデータがあるときは（▼/▲表示時）

カーソル/決定ボタンを上下に押します。

1 ルートボタンを押す

ルートメニューが表示されます。

2 「ルート呼出」を選び、決定する

3 呼び出したいルート名を選び、決定する

4 「編集する」を選び、決定する

「ルート編集」画面になります。

各項目を選択してカーソル/決定ボタンを押すと、次のような操作ができます。

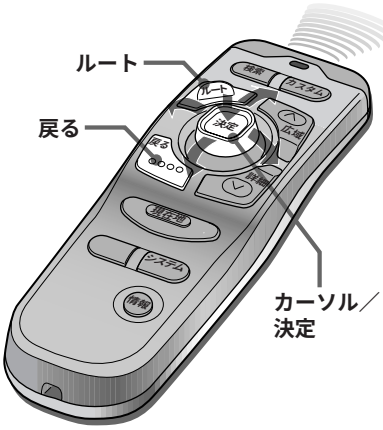
ルート名： ルート名を変更することができます。（全角10文字まで）

保存指定： ルートを保存しておきたいときにチェックします。14ルートまで保存指定することができます。

5 「編集終了」を選び、決定する

「ルート呼出」画面に戻ります。

ルート情報を見る



現在ガイドしているルートの、概略情報（ジャンクション、インターチェンジ名称／フェリー乗り場／道路名称／出発地、経由地、目的地）を表示します。

1 ルートボタンを押す

ルートメニューが表示されます。

2 「ルート情報」を選び、決定する

出発地から目的地までの各ポイントの名称、道路の種類、道のり総距離、所要時間などが表示されます。

3 戻るボタンを押す

ルートメニューに戻ります。

ご注意

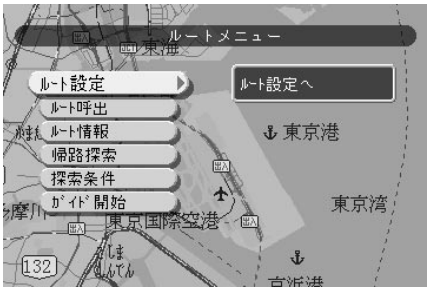
- ルートが設定されていないと、「ルート情報」はメニューに表示されません。
- この機能はルートガイド中のみに働きます。

帰り道を案内させる（帰路探索）

目的地から出発地に帰るとき、往路で設定した地点のデータを逆にして帰り道のルート探索を行うことができます。

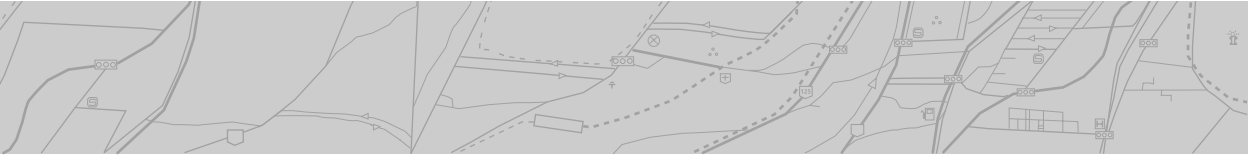
1 ルートボタンを押す

ルートメニューが表示されます。



ご注意

自車位置を「出発地」としたときは、前回ルート探索を開始したときの自車位置が「目的地」になります。



2 「帰路探索」を選び、決定する

出発地と目的地、経由地1～10のデータが入れ替わり、自動ルート探索が始まります。

探索条件を変更する

探索条件の設定は、現在のルート（1本のみのルート探索）と複数ルート探索時で異なります。

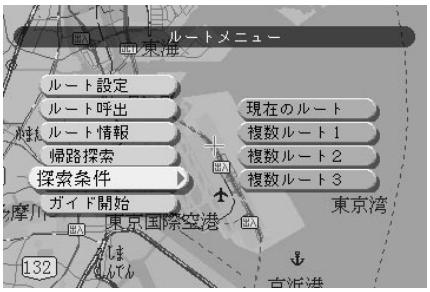
現在のルートの探索条件を変更する

1 ルートボタンを押す

ルートメニューが表示されます。

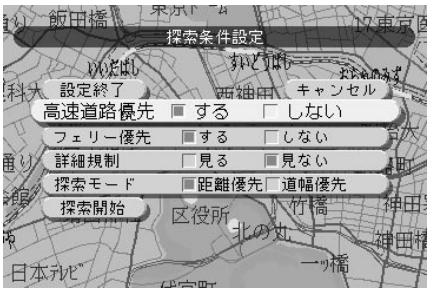
2 「探索条件」を選び、決定する

サブメニューに設定するルートの選択項目が表示されます。



3 「現在のルート」を選び、決定する

現在選択されているルートの「探索条件」設定画面になります。



高速道路優先：
「する」…高速道路を優先
「しない」…一般道路を優先
フェリー優先：
「する」…フェリーを使う
「しない」…フェリーを使わない
（フェリー優先に設定しても、フェリーを使わない場合があります。）
詳細規制：
地図ディスクの詳細規制情報（時間、曜日、季節などによる規制情報）を反映するかどうかを選びます。「見る」を選んだ場合、常に規制があるものとして探索します。
探索モード：
「距離優先」…最短距離ルートを選択
「道幅優先」…道幅を考慮した走りやすいルートを選択

別売りビーコンユニット接続時のみ
VICS使用：
「する」に設定すると、VICS情報を探索条件に加えます。「しない」に設定すると、探索モードは「距離優先」／「道幅優先」になります。
探索モード：
「渋滞回避」（渋滞を避けて探索）または「推奨経路」（早く行ける道を優先して探索）を選択します。

次ページへつづく

4 **設定を変更する**

カーソル/決定ボタンの上下を押して項目を選び、左右を押して設定を切り換えます。

5 **「設定終了」を選び、決定する**

ルートメニューに戻ります。

「キャンセル」を選ぶと、設定を取り消します。

複数ルート1～3の探索条件を変更する

1 **ルートボタンを押す**

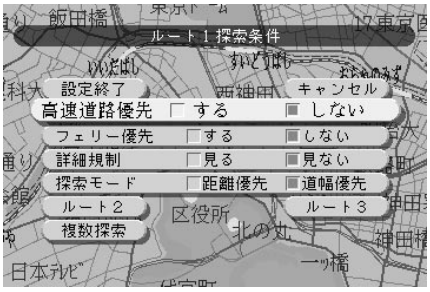
ルートメニューが表示されます。

2 **「探索条件」を選び、決定する**

サブメニューに設定するルートの選択項目が表示されます。

3 **「複数ルート1」を選び、決定する**

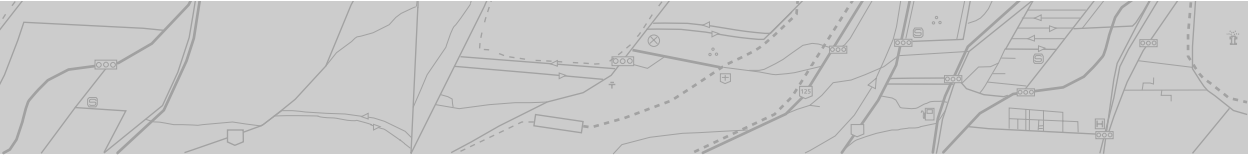
「ルート1探索条件」設定画面になります。複数ルート2、3を選んだときは、ルート2、3の設定画面になります。



4 **設定を変更する**

カーソル/決定ボタンの上下を押して項目を選び、左右を押して設定を切り換えます。

設定項目については、前ページをご覧ください。



5 **「設定終了」を選び、決定する**

ルートメニューに戻ります。

「キャンセル」を選ぶと、設定を取り消します。

「複数探索」を選ぶと、複数探索を開始します。

「ルート2」または「ルート3」を選ぶと、それぞれの探索条件画面になります。

ルートガイドを終了/再開する

ルートガイドを中止するには

1 **ルートガイド中に、ルートボタンを押す**

ルートメニューが表示されます。

2 **「ガイド終了」を選び、決定する**

ルートガイドが終了します。

ルートガイドを再開するには

ルートボタンを押し、ルートメニューの「ガイド開始」を選び、決定します。

地図ディスクの経路探索データについて

次のようなデータは含まれていない場合があります。

例：

- 道幅5.5m以下の細い道路
- 最新の道路規制
- 道路工事による通行止めや進入禁止
- 就航数の少ないフェリー航路

詳しくは地図ディスク製作会社にお問い合わせください。

「目的地」「経由地」までの距離および「道のり総距離」（全ルート表示時）について

ルート上にフェリーの航路がある場合、上記距離にはフェリーの航路上の距離は含まれません。

ルートガイド中の便利な機能

ルートガイドの種類

本機のルートガイドには、次のような種類があります。

- **通常のルートガイド**
  決定メニューで目的地を設定して自動的に始まるガイド、またはルートメニューで出発地、経由地、目的地を設定し、「探索開始」を選択して実行するガイドです。
- **フルタイムルートガイド**
  ルートガイド中か否かに関わらず、常に自車周辺の交差点名称、ジャンクション/ランプガイドなどを行います。（システムメニューで設定）

矢印ガイド

次に向かうガイドポイント上に進行方向が矢印で表示されます。

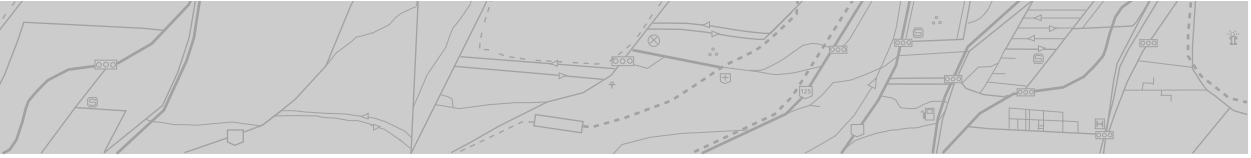
音声ガイド

次に向かうガイドポイント（経由地、交差点など）までの道のりなどをアラーム音（🔊）と音声で知らせます。
音声ガイドの主な項目は、以下のとおりです。

- **ルートガイド開始/終了**
- **ガイドポイント案内**
  ガイドポイントまでの距離、種類（名称）、方向を案内します。
  方向の案内には
  「直進方向」、「右方向」、「ななめ右方向」、「大きく右方向」、「左方向」、「ななめ左方向」、「大きく左方向」、「Uターン」の8種類があります。
- **ガイドポイント基本案内**
  ガイドポイントまでの距離、種類（名称）、方向、方面を案内します。
- **ガイドポイント目前案内**
  ガイドポイントが目前になったとき、種類（名称）と方向を案内します。
- **複合ガイドポイント案内**
- **注意情報（フルタイムルートガイド時）**
- VICS**情報（フルタイムルートガイド時）**
- **直線距離情報**
- **現在地の地名案内**
  現在地付近の名称を音声で案内します。
  リモコンの現在地ボタンを2秒以上押します。

ご注意

地図の縮尺によっては、現在地の地名を音声ガイドできない場合があります。付属の地図ディスクの場合は〝詳細地図〟を除く50mおよび100mのスケールで音声ガイドを行います。



ご注意

- 自車が自動ルート探索の対象でない道路を走行している場合はリルートされません。このときは、自動ルート探索の対象になる道路（国道など）に出れば、リルートを始めます。
- 次のようなときは、車を安全な所に停車させて、改めてルート設定の操作をしてください。
  - 「ルートへ戻る距離が遠いためリルートできません」と表示されたとき
  - ルートをはずれた位置から一定の距離の範囲内に経由地があるため、リルート後の参考ルートに経由地が含まれないとき

リルート機能

自車がルートから外れると、本機は自車位置から目的地までのルートの再探索を行い、自動的にルートを変更します。

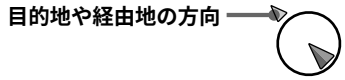
渋滞回避リルート機能

本機は、VICSセンターから提供される最新の道路交通情報を受信し、ルート上に渋滞や道路規制などがあった場合、それらを回避するリルートを行います。リルートされたときは、「ルートが変わりました」と音声ガイドされます。（別売りVICSビーコンユニット接続時のみ）

シンプルガイド機能

マップマッチングが働いていないときや、ナビ研S規格以外の地図ディスクが使われているときは、ルート設定した「目的地」や「経由地」までの直線距離と方向を順番に表示して道案内します。

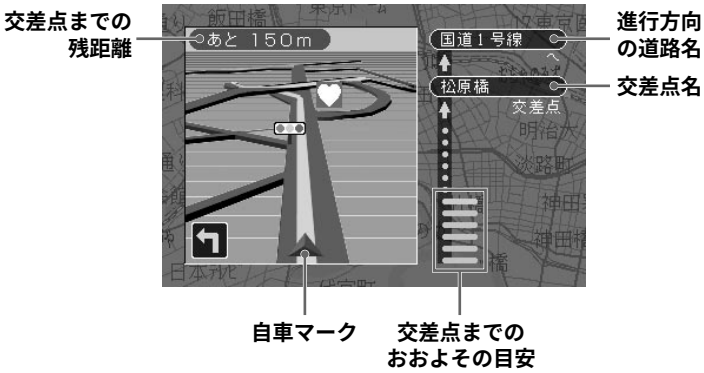
- シンプルガイド中は、次のような自車マークになります。



- シンプルガイド中は、交差点拡大機能やジャンクションガイド機能などは働きません。

交差点拡大機能

ガイドポイントに近づいたときに、交差点の拡大図が表示されます。自車の進行方向が上になるように、交差点の詳細図と残距離が表示されます。

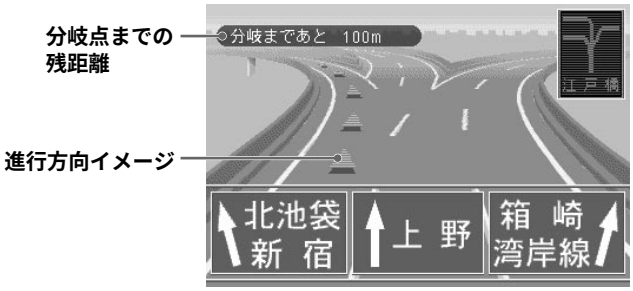


ご注意

ジャンクション／ランプガイド機能は、付属の地図ディスクまたは機能に対応した地図ディスクを使用したときのみ働きます。

ジャンクションガイド機能

高速道路の分岐点が近づいたときに分岐点の詳細図と進行方向、分岐点までの残距離が表示されます。（付属の地図ディスク使用時）



ご注意

- 次の場合は、ガイドルートスクロールができません。
  - 自車マークが探索したルート上にないとき
  - ハイウェイマップや詳細地図が表示されているとき
- 次の場合は、ガイドルートスクロールが中止されます。
  - カーソル/決定ボタンで地図をスクロールさせたとき
  - リルート機能が働いたとき

ランプガイド機能

高速道路の出口が近づくと、出口の詳細図と出口までの残距離が表示されます。（付属の地図ディスク使用時）

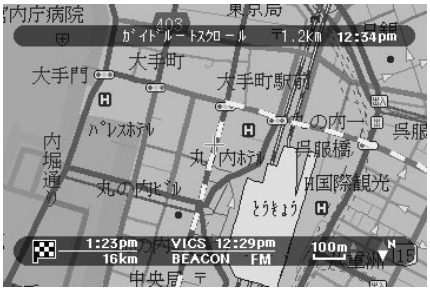
ガイドルートスクロール機能

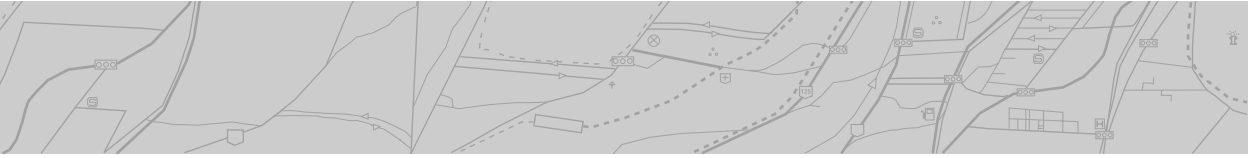
ルートガイド中に目的地までの残りの経路を確かめるために、ルートに沿って地図画面を自動的に先に進める（スクロールする）ことができます。

目的地までスクロールすると、その位置の地図画面で止まります。

ガイドルートスクロールを実行するには

「よく使う機能をカスタムメニューに登録する」（82ページ）で「ガイドルートスクロール」を選んで登録しておく必要があります。





ご注意

- ルートガイド中は目的地までの情報を表示します。ただし、フルタイムルートガイド時には、次の分岐点までの情報表示になります。
- 2画面のときは、ジャンクションやインターチェンジ、サービスエリアなど主要な地点の種類は表示されません。
- 高速道路でも、ジャンクションやインターチェンジ、サービスエリアなどがない場合には表示されません。

ハイウェイマップ機能

高速道路走行中に、進行方向の主要な地点（ジャンクション、インターチェンジ、サービスエリア、経由地、目的地など）の情報を表示することができます。

ハイウェイマップを表示するには

次の2とおりの方法があります。

- システムメニューで「ハイウェイマップ自動切り換え」を「する」に設定する。高速道路に入ると自動的にハイウェイマップに切り換わります。（ルートガイド時のみ）（78ページ参照）
- カスタムメニューで「ハイウェイマップ」を選択し、カーソル/決定ボタンを押す。（82ページ参照）

どちらの場合も、高速道路から出ると自動的に地図画面に戻ります。

前後の地点を表示するには

カーソル/決定ボタンを上下に押します。

地図画面に戻るには

リモコンの現在地ボタンを押します。再びハイウェイマップを表示するにはカスタムメニューで「ハイウェイマップ」を選びます。

地点名
別売りビーコンユニット接続時、右端に施設の種類を示すマークが表示されます。

道路表示
VICS情報によって色分けされます。
渋滞：赤
混雑：オレンジ
平常：青
VICS情報なし／不明：白

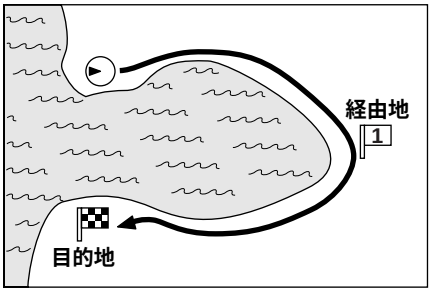
現在地からの距離と到着予想時刻

「ルート探索に失敗しました」と表示されたら

出発地と目的地の位置関係や、目的地付近での交通規制情報などによって、ルート探索が実行できないことがあります。下記のようなケースでは、目的地を少しずらしたり、経由地を追加することで、正しくルート探索を行えることがあります。

出発地と目的地を結ぶルートが、大きく弓なりになるとき

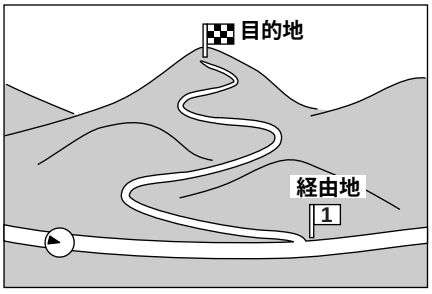
出発地と目的地の間に、海や険しい山があると、ルートを発見できないことがあります。



対処方法： 弓なりになっているルートの中央付近に、経由地（1）を追加してみてください。

目的地が国道などの幹線道路から大きく離れているとき

山の中のスキー場などを目的地に設定すると、ルートを発見できないことがあります。



対処方法： 目的地近くの幹線道路に、経由地（1）を追加してみてください。

ご注意

ルートについて

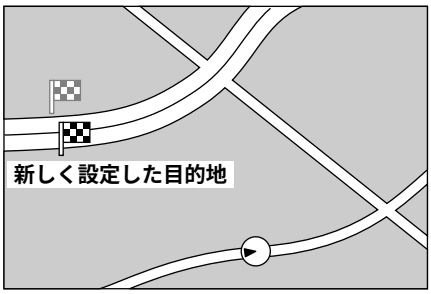
ルートは、経路データがある道路上においてのみ探索されます。経路データがない地点に出発地/経由地/目的地が設定された場合は、その周辺にある経路データがある道路上の交差点や分岐点がそれぞれ探索されます。

そのため、山岳部で近くに道路のない地域や、道路があっても商店街の中で細い道路しかないような地域に設定すると、すぐ近くまではルートが表示されない場合があります。

さらに、目的地を離島などに設定した場合、フェリー航路のデータが地図ディスクに含まれていないなどの理由により、ルートが見つからない場合があります。

目的地が中央分離帯のある道路上やその近くにあるとき

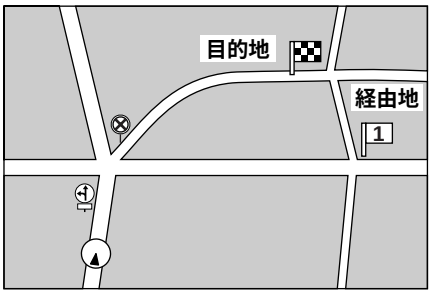
Uターン禁止の道路上に目的地を設定すると、道路規制の内容によって、ルートを発見できないことがあります。



対処方法：反対車線側に、目的地を設定してみてください。

目的地が観光地や駅周辺などで、交通規制の厳しい場所にあるとき

交通規制の内容を反映して、ルート探索に失敗することがあります。



対処方法：少し手前の交差点などに、目的地または経由地（1）を設定してみてください。

より早く目的地を探す（検索メニュー）

目的地をより早く探すために、最寄りのコンビニエンスストアなどのリストや、設定したマーク、電話番号、住所、施設名、緯度経度などを使って検索することができます。

最寄りのコンビニエンスストアなどを表示する

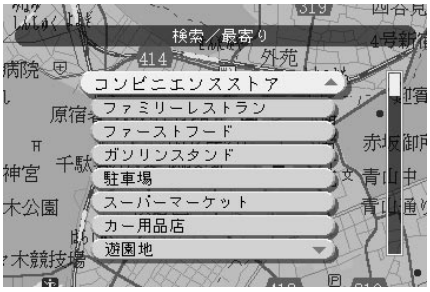
ドライブ中に最寄りのコンビニエンスストアやレストランなどの探したい項目をリストアップし、地図上に表示します。
リスト表示されるのは、場所によって異なりますが、自車位置または地図画面上のカーソル位置から最低半径2km以内にある指定項目です。見つからないときは、場所を変えてもう一度操作してください。

1 検索ボタンを押す

検索メニューが表示されます。

2 「最寄り」を選び、決定する

最寄り検索の項目が表示されます。



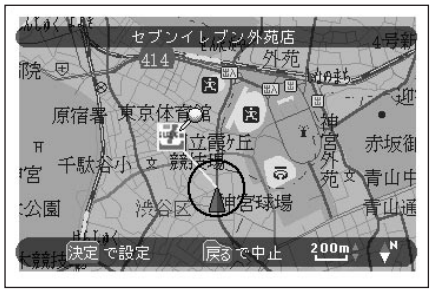
ご注意

- 選択できる項目は、お使いになる地図ディスクによって異なります。ここでは付属の地図ディスクで説明しています。
- 項目リストにシンボルが表示されるのは、付属の地図ディスクのみです。

3 検索したい項目を選び、決定する

選択した項目のリスト（名称／方向／距離／シンボル）が、近い順に表示されます。

4 地図を表示するには、項目リストを選び、決定する



ご注意

3Dビュー画面から操作したときも、手順4の地図画面はスタンダードビューになります。

マーク登録した友人宅などの位置を呼び出す

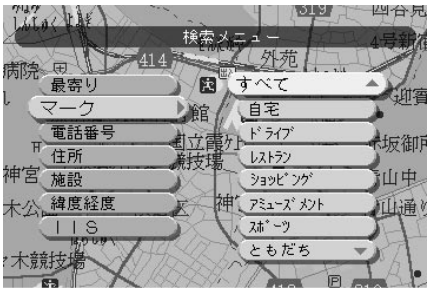
登録してあるマークから、そのマークをつけた場所の地図を呼び出すことができます。

1 検索ボタンを押す

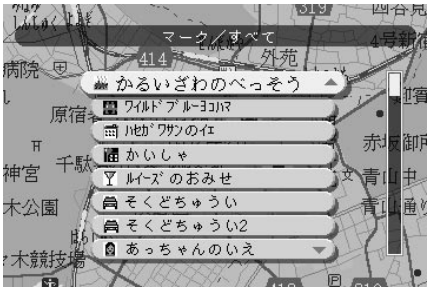
検索メニューが表示されます。

2 「マーク」を選び、決定する

マークのジャンルと、マークリストが表示されます。



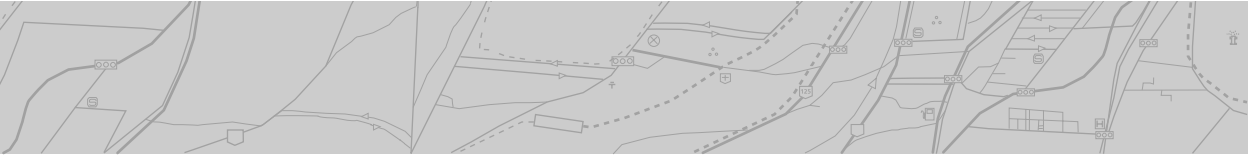
3 表示したいジャンル（種別）を選び、決定する



4 地図を表示するには、項目リストを選び、決定する

ちょっと一言

- マークのつけかたは、決定メニューの「マークをつける」（19ページ）をご覧ください。
- マーク編集については、システムメニューの「登録したマークの名前などを変える」（65ページ）をご覧ください。



電話番号で探す

電話番号を入力し、市外局番＋市内局番または全桁で、該当する地域の地図を表示できます。
付属の地図ディスク使用時のみの機能です。

1 検索ボタンを押す

検索メニューが表示されます。

2 「電話番号」を選び、決定する

「電話番号検索」画面になります。

3 検索したい電話番号を入力する

画面上の数字キーを1字ずつ選び、決定します。

4 画面上の「検索」を選び、決定する

指定した電話番号の地域の地図画面になります。

入力位置を移動するには
画面上の⇦または⇨ボタンを選択して、決定します。

入力したすべての数字を削除するには
「全削除」を選択して、決定します。

間違った数字を入力したときは
削除したい数字まで⇦または⇨ボタンで移動してから、「削除」を選択して決定すると、数字が削除されます。

電話をかけるには
「通話」を選択して、決定します。
（別売りPDCインターネットユニットおよび携帯電話接続時のみ）

住所で探す

都道府県名、市区町村名、大字町名を選択し、該当する地域の地図を表示できます。
付属の地図ディスク使用時のみの機能です。

1 検索ボタンを押す

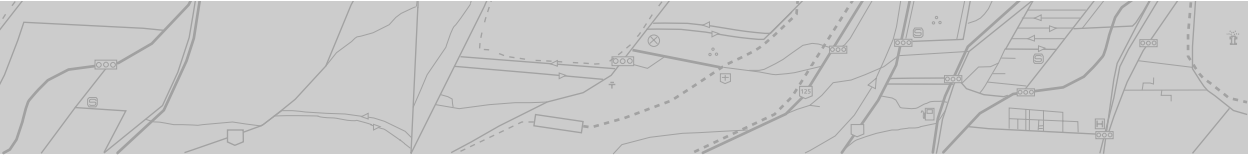
検索メニューが表示されます。

2 「住所」を選び、決定する

「住所検索」画面になります。

ご注意

地図ディスクによっては、手順が異なる場合があります。



3 カーソルを都道府県名の欄（2段目）に移動して決定する

都道府県名は北から順に並んでいます。

4 カーソル/決定ボタンの上下を押してから、呼び出したい都道府県名を選び、決定する

5 さらにカーソルを3段目に移動して、決定する

都道府県名に対応した市区町村名リストが表示されます。

6 カーソル/決定ボタンの上下を押してから、呼び出したい市区町村名を選び、決定する

都道府県、市区町村の選択だけで検索を実行することもできます。そのときは、手順8に進んでください。

次ページにつづく

7 **大字/町名を指定するときは、カーソルを4段目に移動して決定してから、呼び出したい大字町名を選び、再度決定する**

8 **画面上の「検索」を選び、決定する**

指定した住所の地域の地図画面になります。

施設名などから探す

「目的地まで道案内させる」（12ページ）をご覧ください

緯度経度から探す

緯度経度を入力すると、その位置を中心とした地図を表示することができます。
例えば、本機を取り付けている何台かの車でドライブするときに、目的地などの緯度/経度を教え合うことにより、お互い共通の場所に目的地を設定することができます。

1 **検索ボタンを押す**

検索メニューが表示されます。

入力位置を移動するには
⇦または⇨ボタンを選択して、決定します。

2 「緯度経度」を選び、決定する

3 「緯度」と「経度」を入力する

画面上の数字キーを一字ずつ選び、決定します。

緯度→経度の順に入力します。

緯度欄にはN（北緯）またはS（南緯）、経度欄にはE（東経）またはW（西経）のみが入力できます。

4 画面上の「検索」を選び、決定する

指定した緯度/経度の地図画面が表示されます。

いろいろな情報から探す（別売りディスク使用時）

ご注意

付属の地図ディスクには、IIS情報は収録されていません。
また、ディスクによってはIISが検索機能に対応していないものがあります。その場合は、IISのオープニング画面が表示されます。

検索メニューの「IIS」を選択すると、地図ディスクのIIS(Integrated Information Services：ナビゲーションシステム研究会の共通規格に基づいた情報提供プログラム)の検索メニュー画面を直接表示させることができます。

1 検索ボタンを押す

検索メニューが表示されます。

2 「IIS」を選び、決定する

IIS機能の検索メニュー画面になります。

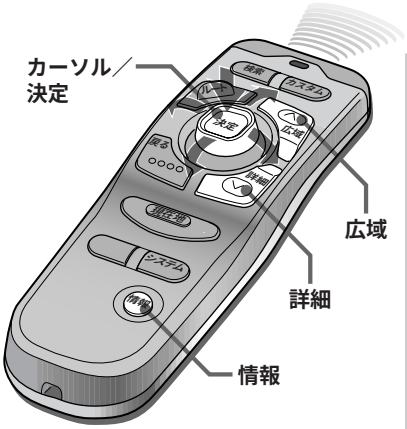
お使いになっている地図ディスクの取扱説明書をご覧のうえ、操作してください。

IISを終了するには
現在地ボタンを押します。

いろいろな情報を見る（情報メニュー）

本機はVICSユニット内蔵のため、VICSセンターがNHKのFM多重放送の設備を使って提供する交通情報や、FM文字多重放送などを見ることができます。

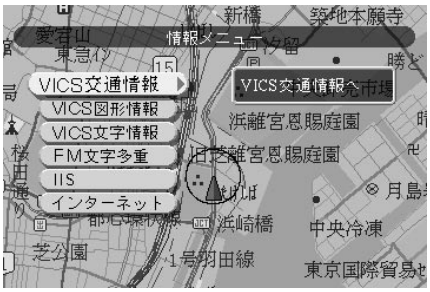
VICS交通情報を見る



まず、受信可能なVICS局を受信します。

1 情報ボタンを押す

情報メニューが表示されます。



2 「VICS交通情報」を選び、決定する

VICS交通情報の目次画面になります。

1 受信状態表示

現在選択している周波数のFM放送の受信状態を表示します。

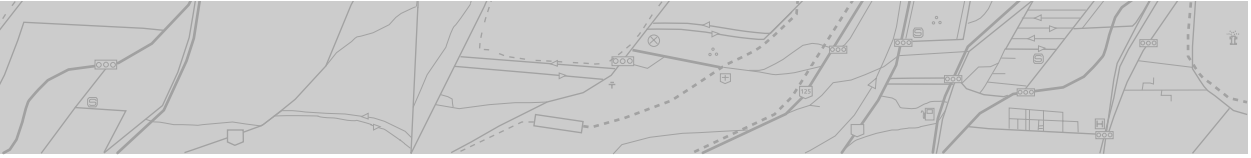
受信不能 ←→ 一番良好

2 番組番号ボタン

画面上に表示されている番組目次の番号に対応しています。

ご注意

- 電波の状態により、受信するまでに多少の時間がかかることがあります。
- 通常のFM放送が受信できていても、受信状況によっては、文字データは受信できないことがあります。
  このような場合は、別売りのアンテナ分配器を接続することをおすすめします。（別冊の「取り付けと接続」または「接続説明書」をご覧ください。）
- 番組番号ボタンが表示されるまで、しばらく時間がかかることがあります。



3 ページ送りマーク

前後にページがあるとき表示されます。

前後のページを表示するには

リモコンの広域／詳細ボタンを押します。

3 表示したい番組番号を選び、決定する

1 受信状態表示

現在選択している周波数のFM放送の受信状態を表示します。

2 番組番号ボタン

さらに番組目次があるとき、その番号に対応しています。

3 ページ送りマーク

前後にページがあるとき表示されます。

前後のページを表示するには

リモコンの広域／詳細ボタンを押します。

4 表示エリア

通常は15.5文字×2行です。

5 番組ジャンプボタン

目次画面に戻らず、前後の番組にジャンプします。

ジャンプ直後の⬆ボタンを選択すると、ジャンプ前の番組の先頭ページに戻ります。

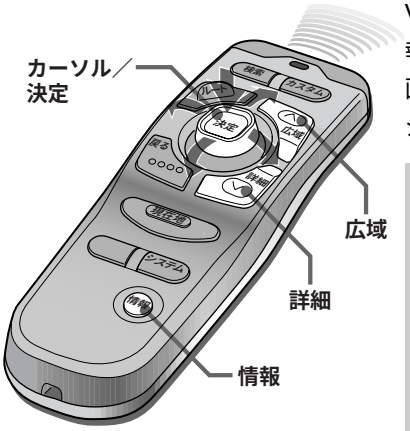
表示を2行にするには（停車時のみ）
「VICSの設定」（79ページ）で8行表示機能をOFF（初期設定はON）に設定します。

前後の番組を表示するには
番組ジャンプボタン（5）を選択して、決定します。

番組目次画面（1ステップ前）に戻るには
リモコンの戻るボタンを押します。

地図画面に戻るには
リモコンの現在地ボタンを押します。

VICS図形情報を見る



VICS情報の図形情報を表示するには、情報メニューで「VICS図形情報」を選択します。
画面内のボタンの操作については、「VICS交通情報を見る」（52ページ）をご覧ください。

1 情報ボタンを押す

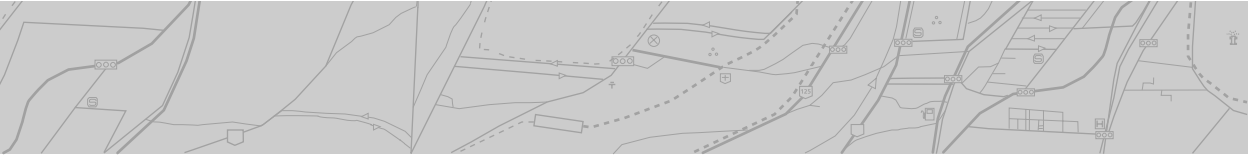
情報メニューが表示されます。

2 「VICS図形情報」を選び、決定する

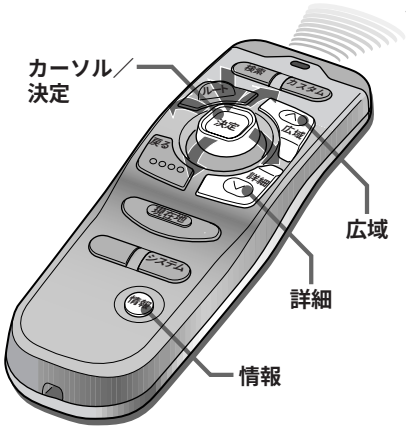
図形情報の番組目次画面になります。

「BEACON」ボタン（別売りのVICSビーコンユニットNVA-VB1接続時のみ）
前回受信時のビーコン情報を保持しているとき表示されます。

「次」ボタン
6番以降の番組があれば表示されます。このボタンを選択して決定すると、6番以降の番組選択画面になります。



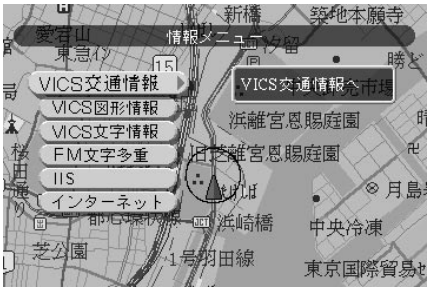
VICS文字情報を見る



VICS情報の文字情報には、「区間旅行時間」、「駐車場情報」、「SA/PA（サービスエリア／パーキングエリア）情報」、などがあります。

1 情報ボタンを押す

情報メニューが表示されます。



ご注意

文字情報の内容は、受信する地域によって異なることがあります。

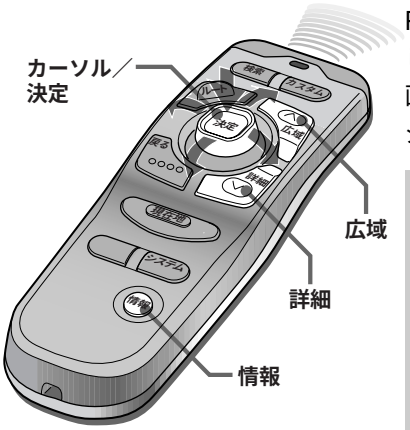
2 「VICS文字情報」を選び、決定する

文字情報リスト画面になります。

3 表示したい項目を選び、決定する

選択した項目の文字情報を表示します。

FM文字多重放送を見る



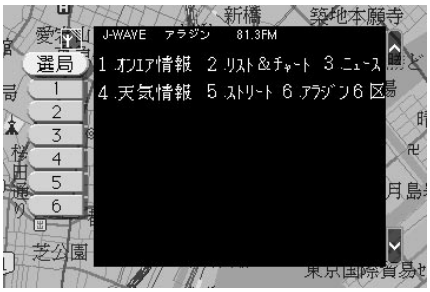
FM文字多重放送を見るには、情報メニューで「FM文字多重」を選択します。
画面内のボタンの操作については、「VICS交通情報を見る」（52ページ）をご覧ください。

1 情報ボタンを押す

情報メニューが表示されます。

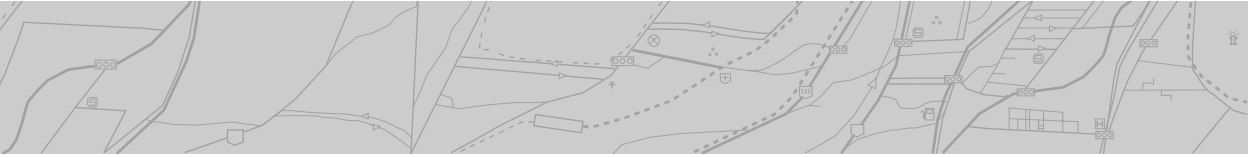
2 「FM文字多重」を選び、決定する

FM文字多重放送の目次画面になります。



「選局」ボタン
選択して決定すると、「FM選局」画面（85ページ参照）に切り換わります。

3 表示したい番組番号を選び、決定する



インターネットに接続する

インターネットに接続するには、次の準備が必要です。

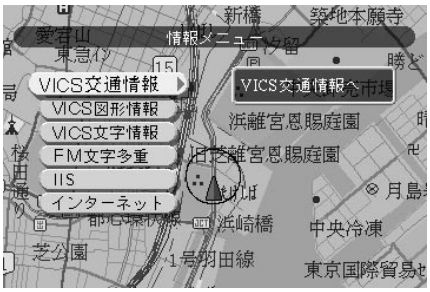
- 別売りのPDCインターネットユニットとデジタル携帯電話（9600bpsのデータ通信機能に対応したもの）の接続
- プロバイダー（通信会社）との契約
- インターネットの設定（92〜97ページ参照）

MobileLinkホームページを見る

MobileLinkホームページを見るには、次のように操作します。
（URL入力の必要はありません。）

1 **情報ボタンを押す**

情報メニューが表示されます。



2 **「インターネット」を選び、決定する**

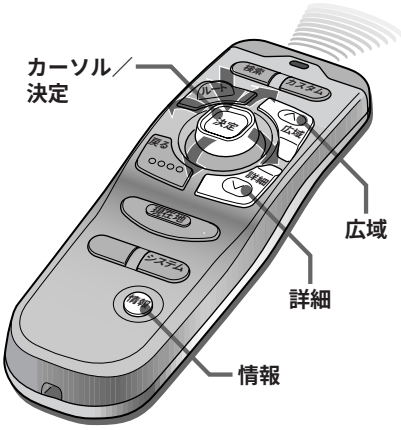
3 **「Start!」を選び、決定する**

画面上のカーソルが、＋マークから指マークに変わります。

自動的に契約しているプロバイダーの接続先電話番号に電話がかかり、MobileLink（モバイルリンク）ホームページが表示されます。

ご注意

別売りPDCインターネットユニットNVA-W1Cをお買い上げの方も、本書の説明をお読みください。
本機はMoileLinkの新サービス（'98年6月より）に対応しています。



ホームページの見かた

ページを切り換えるには

リモコンの広域ボタンで戻り、詳細ボタンで進みます。通常は、1度参照したホームページを一時的に記憶しています。

スクロールのしかた

画面上のカーソル（＋マーク）を上下左右に移動すると、上端や下端付近、左端や右端付近で画面がスクロールします。

リンク先を見るには

画面上のカーソルが、指マークにかわる部分で決定ボタンを押します。リンク先のホームページへ移ります。

インターネット関連のメニューを表示するには

画面上のカーソルが＋マークのときに、カーソル/決定ボタンを押します。

画面のスクロールやページ切り換え以外の操作は、表示されたメニューで行います。

途中でダウンロードを中止するには

メニューの「中止」を選択して、決定します。

プロバイダーへの接続状態は、画面右上のアイコン に次の3段階で表示されます。

- ダウンロード中
- ダウンロードしていないが、電話回線接続中
- 電話回線接続準備中

インターネット画面を終了するには

- メニューの「終了」を選択して、決定します。
  回線を切断し、地図画面に戻ります。

ご注意

- 回線を切断してから地図画面に戻るまでに、数十秒から数分間かかることがあります。
- インターネットから得られた情報の内容と、それらの利用により発生した損害に関して、弊社はいかなる責任も負わないものとします。
- 地図画面に戻るには、リモコンの現在地ボタンを押します。

ご注意

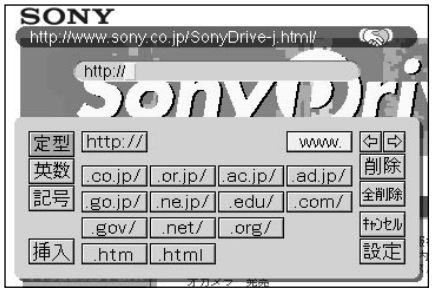
「中止」を選択し決定しても、回線は切断されません。
画面を表示したまま回線だけを切断したいときは、「回線切断」を選び、決定してください。

新しいURLを入力してアクセスする

初めてのホームページを見るには、URLを入力する必要があります。カーソルが＋状態のときカーソル/決定ボタンを押し、メニューを表示して操作します。

1 メニューの「URL入力」を選び、決定する

まず、「定型」語句入力画面になります。



2 定型語句を1つずつ選択し、決定する

URL表示欄に定型語句が表示されます。

3 「英数」を選び、決定する

文字を1文字ずつ選択して決定します。

URL表示欄に入力内容が表示されます。

4 「設定」を選び、決定する

入力されたURLアドレスのホームページにアクセスします。

「キャンセル」を選ぶと、設定を中止します。

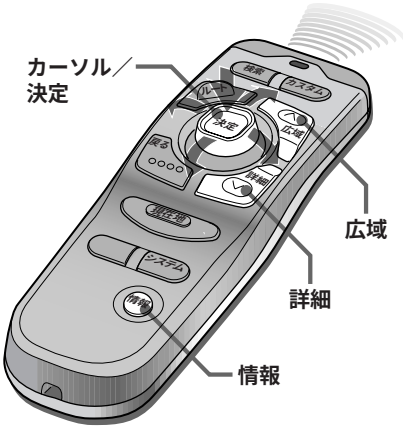
記号を入力するときは
「記号」を選択し、決定します。

間違った文字を入力したときは
「削除」を選択して、削除したい文字にカーソルを移動して決定します。

入力位置を移動するには
⇦または⇨ボタンを選択して、決定します。

文字を挿入するには
⇦または⇨ボタンで挿入位置を決め、「挿入」を選択してから、文字を入力して決定します。

入力したすべての文字を削除するには
「全削除」を選択して、決定します。



URLをブックマークに登録する

現在表示しているURLを、ブックマークに登録することができます。登録されたURLはブックマークリストから選択するだけで、アクセスすることができます。ブックマークは30か所まで登録できます。
カーソルが＋状態のときカーソル/決定ボタンを押し、メニューを表示して操作します。

1 メニューの「ブックマーク」を選び、決定する

サブメニューにブックマークリストが表示されます。

2 サブメニューの「追加」を選び、決定する

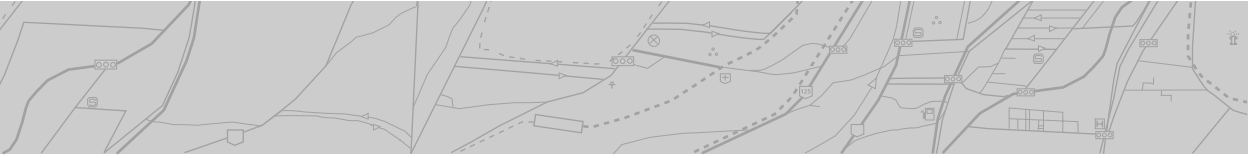
現在表示しているURLが、追加されます。

登録済みのURLにアクセスする

すでにブックマークにURLを登録してある場合、見たいホームページにアクセスするには、ブックマークを選択するだけです。
カーソルが＋状態のときカーソル/決定ボタンを押し、メニューを表示して操作します。

1 メニューの「ブックマーク」を選び、決定する

インターネットメニューが表示されます。



2 **サブメニューにカーソルを移動し、アクセスしたいブックマークを選び決定する**

選択したURLアドレスのホームページにアクセスします。

ブックマークを削除する

ブックマークに登録済みのURLから、不要な項目を削除することができます。
カーソルが＋状態のときカーソル/決定ボタンを押し、メニューを表示して操作します。

1 **メニューの「ブックマーク削除」を選び、決定する**

サブメニューにブックマークリストが表示されます。

2 **サブメニューで削除したいブックマークを選び、決定する**

選択したブックマークが削除されます。

過去のページ（ヒストリー）に戻る

一度表示したページは30種類まで記憶されています。これらのページを再表示するには、ヒストリーリストを選択します。
カーソルが＋状態のときカーソル/決定ボタンを押し、メニューを表示して操作します。

1 **メニューの「ヒストリー」を選び、決定する**

サブメニューにヒストリーリストが表示されます。

2 **サブメニューで再表示したいヒストリーを選び、決定する**

選択したページを再表示します。

表示モードを切り換える

カーソルが＋状態のときカーソル/決定ボタンを押し、メニューを表示して操作します。

1 メニューの「表示切換」を選び、決定する

表示モードと文字コード欄が表示されます。

2 表示モードを選び、決定する

1 / 1 ：　通常（工場出荷時）

1 / 2 ：　画像データの表示サイズが縦横1/2の大きさになります。（文字は、そのままです）

テキスト：文字のみを表示します。

3 文字コードを選び、決定する

表示するホームページの文字コードを選びます。

4 「設定終了」を選び、決定する

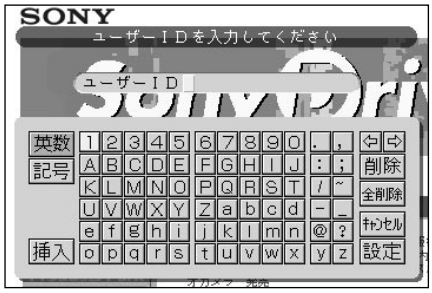
ちょっと一言

通常は「自動」ですが、文字がうまく表示されないときは、「SJIS」、「JIS」、「EUC」に変更してください。

「ユーザーIDを入力してください」と表示されたときは

ホームページの種類によっては、最初にユーザーIDやパスワードなどの入力を要求してくる場合があります。
そのときは、次のように操作してください。

1 画面上の「英数」または「記号」を選び、決定する



2 文字を1文字ずつ選択して、決定する

入力方法は、URL入力の場合と同じです。

3 画面上の「設定」を選び、決定する

「パスワードを入力してください」画面になります。

4 文字を1文字ずつ選択して、決定する

入力方法は、URL入力の場合と同じです。

5 画面上の「設定」を選び、決定する

指定したホームページが表示されます。

ご注意

実際の画面は、ホームページによって異なります。

「選択してください」と表示されたときは

ホームページの種類によっては、入力フォームに指定された選択肢から1項目または複数の項目を選んで入力する場合があります。
そのときは、次のように操作してください。

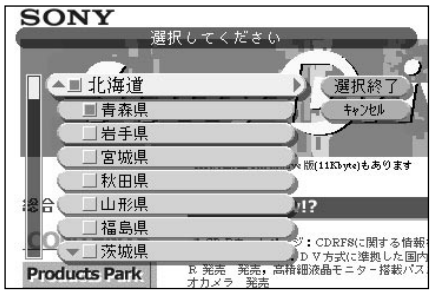
1項目を選択する場合

1 項目を選び、決定する

元のページに戻ります。

複数の項目を選択する場合

1 必要な項目を選び、決定する



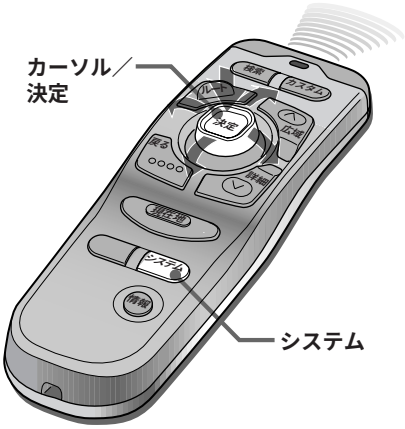
2 「選択終了」を選び、決定する

元のページに戻ります。

設定と調整（システムメニュー）

本機の設定項目は、システムメニューにまとめられています。
システムボタンを押すと、メニュー項目が表示されます。

登録したマークの名前などを変える（マーク編集）



決定メニューでつけたマーク位置に、名前をつけたり、音声ガイド時の読みや電話番号を登録することができます。
また、地図画面上に表示するシンボルを選択することもできます。

ご注意

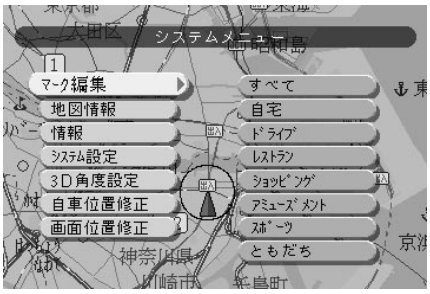
マークが全く登録されていない場合、「マーク編集」はシステムメニューに表示されません。

1 システムボタンを押す

システムメニューが表示されます。

2 「マーク編集」を選ぶ

マークリスト画面になります。

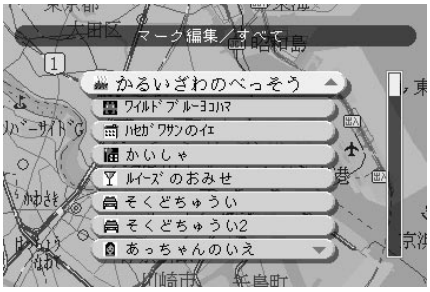


3 編集したいマークの種別を選ぶ

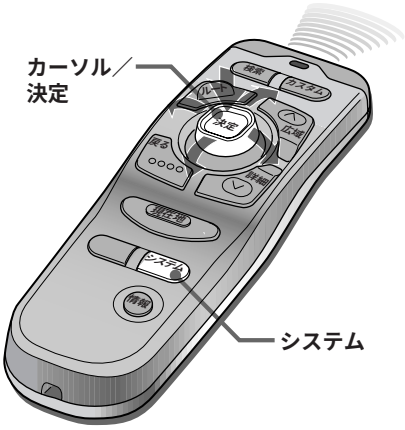
「すべて」を選択して、手順4に進むこともできます。

4 カーソル/決定ボタンを押して（または右に押して）、編集したい項目を選ぶ

マークリストが表示されます。最後に登録したマークが、一番上になっています。



次ページへつづく

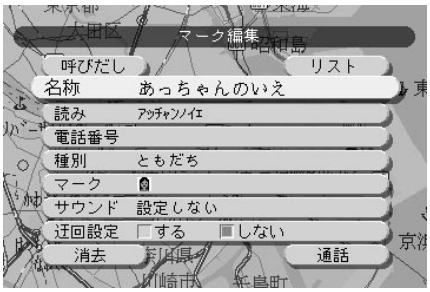


ご注意

- マークの種類や名前を変更したときは、必ず地図画面に戻ってから電源を切ってください。マークリスト画面のままで電源を切ると、変更した内容が登録されません。
- 「サウンド」と「迂回設定」は、それぞれ10マークまで設定できます。

5 カーソル/決定ボタンを押す

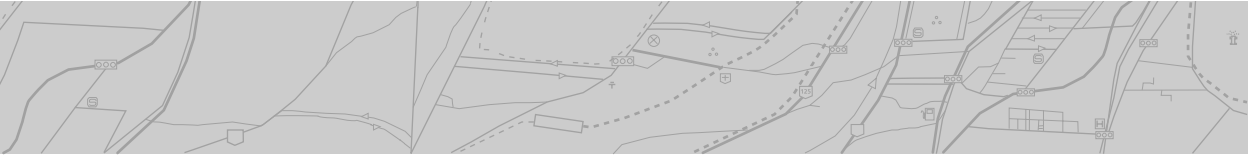
「マーク編集」画面になります。



呼びだし	マークポイントを中心とした地図（スタンダードビュー画面）になります。
名称	名称を変更できます。
読み	マークの読みを設定します。
電話番号	電話番号を登録します。
種別	マークリストに表示するときの種別を設定します。
マーク	地図上に表示するマークシンボルを設定します。
サウンド	マーク付近を自車が通過する際に出力する音の種類を設定します。
迂回設定	ルート探索時にマークポイントを迂回「する」、「しない」を設定します。
消去	マークを消去します。
通話	登録した電話番号に電話をかけます。（PDCインターネットユニット接続時のみ）

6 マークリスト画面に戻るには、「リスト」を選び、決定する

各項目の編集画面で「設定」を選択すると、マーク編集画面に戻ります。



名前を変更する

英数字やかな記号を入力するときは
「英数」を選択して、決定します。ひらがな入力画面に戻るには、「かな」を選択して、決定します。

入力位置を移動するには
⇦または⇨ボタンを選択して、決定します。

間違った文字を入力したときは
カーソル直前の文字の場合は、「削除」を選択して、決定すると文字が削除されます。途中の文字の場合は、削除したい文字まで⇦または⇨ボタンで移動し、「削除」を選択してから、決定すると文字が削除されます。

文字を挿入するには
⇦または⇨ボタンで挿入位置を決め、「挿入」を選択してから、文字を入力して決定します。

入力したすべての文字を削除するには
「全削除」を選択して、決定します。

1 「マーク編集」画面（前ページ）で「名称」を選び、決定する

名称入力画面が表示されます。

2 新しく名前につける文字を1字ずつ選び、決定する

「変更名」欄に入力内容が表示されます。

全角11文字、半角22文字まで入力することができます。

3 「設定」を選び、決定する

マークに新しい名前がつき、マーク編集画面に戻ります。

「キャンセル」を選ぶと、変更を中止します。

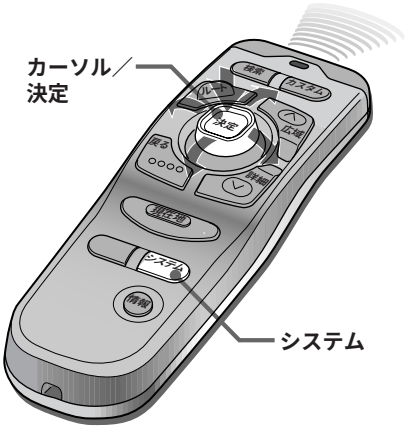
読みを設定する

マークの読みは、マーク位置を音声ガイドさせるときに使います。半角カタカナで入力します。

1 「マーク編集」画面（前ページ）で「読み」を選び、決定する

「読み入力」画面になります。

次ページへつづく



2 読みを1文字ずつ選び、決定する

「変更名」欄に入力内容が表示されます。

22文字まで入力することができます。

3 「設定」を選び、決定する

マークに新しい読みがつき、マーク編集画面に戻ります。

「アクセント」、「ポーズ」の設定で入力ミスがあったときは、ポップアップ画面でお知らせしますので、再入力してください。

「キャンセル」を選ぶと、変更を中止します。

ちょっと一言

自車がマークに近づいたとき、「読み」で設定した言葉を音声ガイドさせることができます。
「サウンド」を「読み」に設定してください（71ページ）。

***アクセントや間合い（ポーズ）を入れるには**

入力時に「アクセント」や「ポーズ」キーを選択して、決定します。アクセントとポーズは、入力画面では次のように表示されます。

アクセント：’（アポストロフィー）
ポーズ：＿（アンダーバー）

「アクセント」と「ポーズ」は複数の設定が可能です。ただし、「アクセント」は「ポーズ」で区切られた読みの間に1回だけ付けることができます。また、「アクセント」と「ポーズ」を続けて入力することはできません。

例）
○　「オ’イシイ＿イタリア’ン＿レストラン」
×　「オ’イシイ＿イ’タリア’ン＿レストラン」
　　（ポーズとポーズの間に2つのアクセント）
×　「オ’イシイ＿’イタリア’ン＿レストラン」
　　（ポーズの直後にアクセント）

入力された読みを確認するには

「試聴」を選択して、決定します。

電話番号を登録する

マークに電話番号を登録しておくと、マーク位置を呼び出して、電話をかけたりすることができます。（別売りPDCインターネットユニット接続時）

入力位置を移動するには
⇦または⇨ボタンを選択して、決定します。

間違った数字を入力したときは
カーソル直前の数字の場合は、「削除」を選択して、決定すると数字が削除されます。途中の数字の場合は、削除したい数字まで⇦または⇨ボタンで移動し、「削除」を選択してから、決定すると数字が削除されます。

入力したすべての数字を削除するには
「全削除」を選択して、決定します。

1 「マーク編集」画面（66ページ）で「電話番号」を選び、決定する

「電話番号入力」画面になります。

2 登録したい電話番号を入力する

画面上の数字キーを1字ずつ選んで、決定します。

3 「設定」を選び、決定する

電話番号が登録され、マーク編集画面に戻ります。

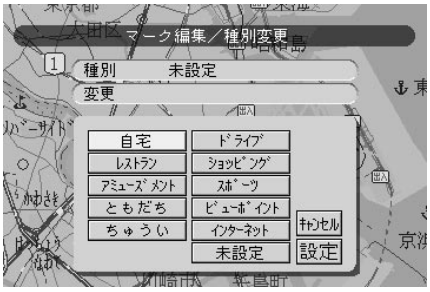
「キャンセル」を選ぶと、登録を中止します。

種別を変更する

マークは種別ごとに分類してリスト表示されます。マークの種別を変更すると、地図画面上に表示されるシンボルも自動的に変更されます。

1 「マーク編集」画面（66ページ）で「種別」を選び、決定する

「種別変更」画面になります。



2 種別（11種類）のいずれかを選び、決定する

3 「設定」を選び、決定する

「キャンセル」を選ぶと、変更を中止します。

自宅を登録するには

「自宅を登録する」（9ページ）をご覧ください。

種別リストの「インターネット」について

別売りのPDCインターネットユニットを接続して、MobileLink（モバイルリンク）ホームページからレストランなどのマークを読み込んだとき、マークの種別はすべて「インターネット」になります。
一度「インターネット」に分類されたマークは、上記の手順で種別変更することができます。

シンボルを変更する

地図画面上に表示するマークシンボルは、1種別につき6種類ずつ選択することができます。
6種類以外のシンボルに変更するには、まず種別を変更してからシンボルを選択してください。

1 **「マーク編集」画面（66ページ）で「マーク」を選び、決定する**

「シンボル変更」画面になります。

2 **マークシンボル（6種類）のいずれかを選び、決定する**

3 **「設定」を選び、決定する**

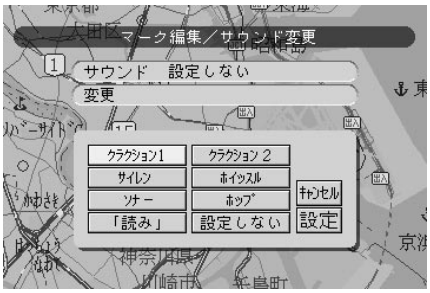
「キャンセル」を選ぶと、変更を中止します。

マークのサウンドを変更する

自車がマーク付近を通過したときの音を設定することができます。

1 **「マーク編集」画面（66ページ）で「サウンド」を選び、決定する**

「サウンド変更」画面になります。



次ページへつづく

音を出さないようにするには
「設定しない」を選択して、決定します。

「読み」の設定内容を出力するには
「読み」を選択して、決定します。

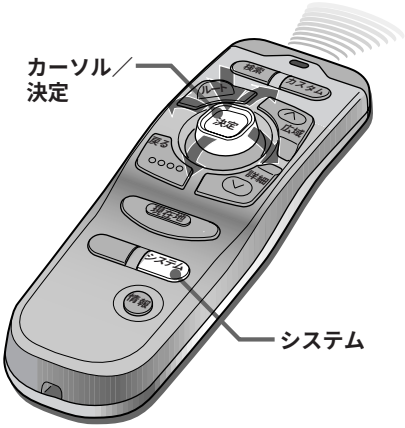
2 サウンド欄のいずれかを選び、決定する

カーソル/決定ボタンを押すと、それぞれの音が出て、確認することができます。

3 「設定」を選び、決定する

「キャンセル」を選ぶと、変更を中止します。

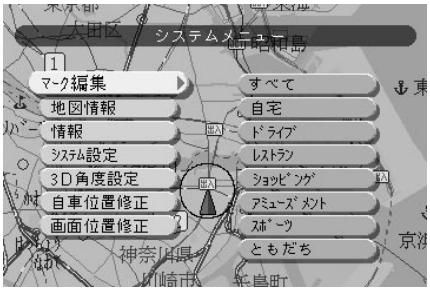
マークや走行軌跡などの表示を切り換える



地図画面上に、走行軌跡、マーク表示、最寄りマーク、ドライブ情報の各項目を表示するかしないかを設定します。

1 システムボタンを押す

システムメニューが表示されます。

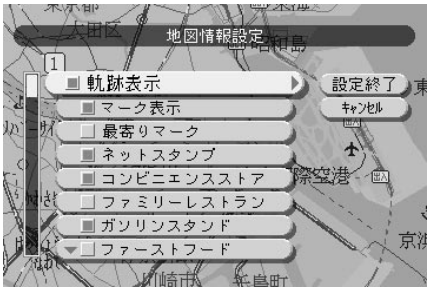


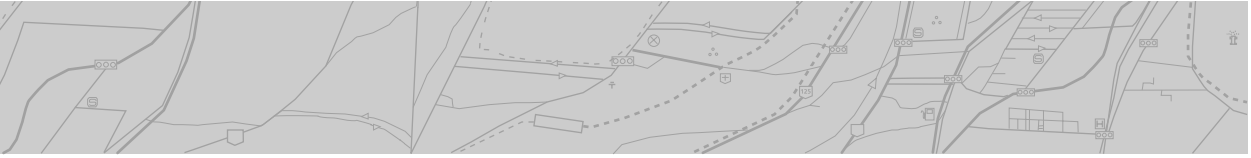
ちょっと一言

走行軌跡の表示は1000ポイントまで記録されます。1000ポイントを越えると1ポイント目の軌跡から順に消えていきます。また、地図の縮尺に合わせて見やすい間隔で軌跡を表示するので、広域な地図では軌跡の数は少なくなります。

2 「地図情報」を選び、決定する

「地図情報設定」画面になります。





ドライブ情報：
地図ディスク上に記録されているドライブ情報（レジャー施設、温泉地など）の表示を項目ごとに切り換えます。

ご注意

- 地図ディスクによっては、ドライブ情報が収録されていないものもあります。
- シンボル表示やその内容は、地図ディスクによって異なります。
- ドライブ情報がない縮尺の地図もあります。お使いになる地図ディスクによって異なりますが、通常は詳細な地図にドライブ情報が収録されています。
- ドライブ情報が収録されていない地域もあります。
- 複数の項目を選択すると、地図上で情報の表示が重なる場合があります。

3 各項目を選び決定して、赤いチェックマークを付け換える

表示する項目には赤いチェックマークをつけ、表示しない項目では消します。

軌跡表示	走行軌跡とは、自車がそれまでに走ってきた道につく白い点のことです。「表示する」に設定したときのみ記録されます。
マーク表示	すべてのマーク表示を切り換えます。「表示しない」に設定すると、サウンド設定や迂回ルート設定も無効になります。
最寄りマーク	最寄り表示のピンマークの表示を切り換えます。最寄り検索を行うと自動的に「表示する」になります。
ネットスタンプ	インターネット上のMobileLink（モバイルリンク）ホームページから読み込んだ情報を表示します。（別売りPDCインターネットユニット接続時）

4 「設定終了」を選び、決定する

「キャンセル」を選ぶと、設定を取り消します。

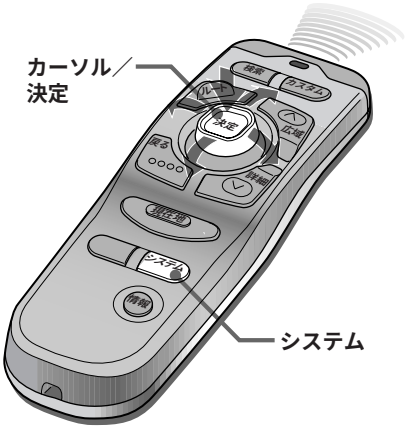
GPS衛星の受信状態を見る

ドライブ中に現在地が表示されないときや自車マークが黒色のときなどに、以下の操作でGPS衛星の受信状態を確認してください。

1 システムボタンを押す

システムメニューが表示されます。

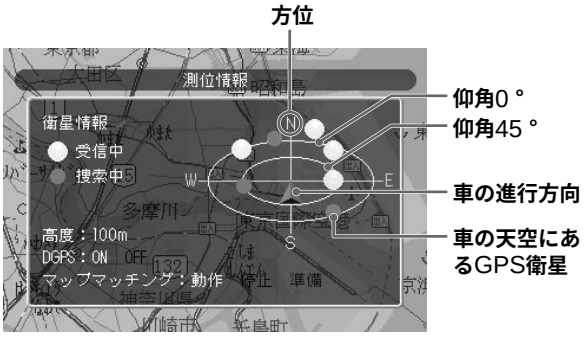
次ページへつづく



2 「情報」を選び、決定する

情報項目選択画面になります。

3 「測位情報」を選び、決定する



GPS衛星は次の2段階で表示されます。

高度： 現在地の高度のおおよその値

受信中： 現在、電波を受信中のGPS衛星

捜索中： 障害物などで電波を受信できないGPS衛星

以下の項目は、現在の状態を表示します。

DGPS*： ON/OFF

マップマッチング*： 動作/停止/準備

*詳しくは、114ページをご覧ください。

4 戻るボタンを押す

ちょっと一言

自車マークから離れて表示されているGPS衛星ほど、障害物の影響を受けやすくなります。

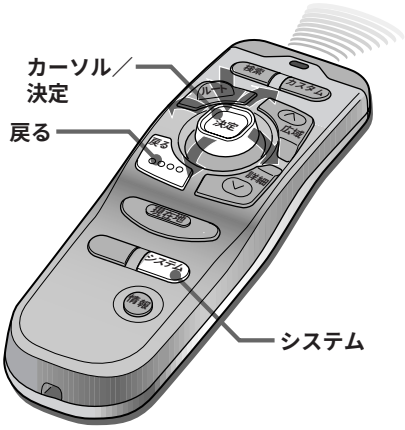
ご注意

- 確認のための表示が変わるまで数秒間かかる場合があります。
- 自車マークの動きが正確でないときは、次の操作を行ってください。
  - リセットボタンを押す。
  - 車速センサーコードの接続を確認し、正しく接続する。
- 本機はGPS衛星受信状態のみでも、マップマッチングを行います。ただし、自律航法機能が働いている場合に比べて、測位の精度が低くなります。また、GPS衛星の電波が受信できない場所では、マップマッチング機能は働きません。

マップマッチングの動作について

マップマッチングが動作しているときは「動作」と表示されます。また、初めて本機を取り付けたときや別の車に付け替えたときなどは、しばらく「準備」と表示されます。準備が終了すると、「動作」の表示に変わりますが、地図ディスク上にマップマッチング情報のないエリアを走行しているときは、「停止」と表示されます。

自律航法機能の動作を確認する



ご注意

運転者が自律センサーの動作確認を行うことは危険です。必ず助手席の同乗者に行ってもらってください。

内蔵の自律センサーが正しく動作していることを確認するには、システム情報画面で次の操作を行ってください。

1 システムボタンを押す

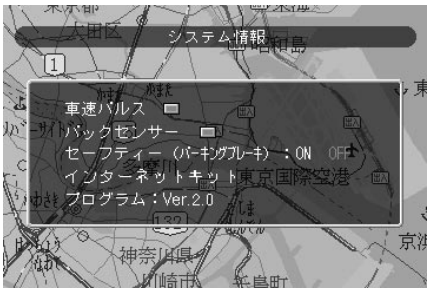
システムメニューが表示されます。

2 「情報」を選び、決定する

情報項目選択画面になります。

3 「システム情報」を選び、決定する

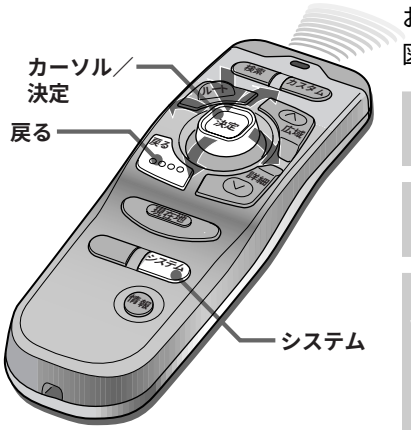
画面の確認は、必ず助手席の同乗者に行ってもらってください。



車速パルス	この画面を表示した状態で車を安全な場所でゆっくり走らせて、赤いボタンが点滅することを確認してください。車の速度を上げると点滅が速くなります。
バックセンサー	シフトレバーがリバースの位置にあるときに、ランプの点灯（赤）を確認してください。
セーフティー	パーキングブレーキを引いて車が停車している状態でON側のランプの点灯（赤）を確認してください。
インターネット	別売りインターネットユニット接続時に点灯キットします。
プログラム	システムプログラムのバージョンを表示します。

4 戻るボタンを押す

地図ディスクの情報を見る

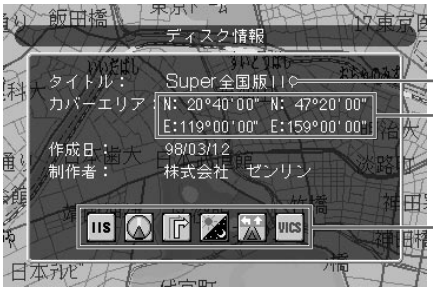


お使いになっている地図ディスクのカバーエリア(収録されている地図の範囲)やディスクのタイトルなどを見ることができます。

1 **システムボタンを押す**

2 **「情報」を選び、決定する**

3 **「ディスク情報」を選び、決定する**



4 **戻るボタンを押す**

ディスクの機能マークについて

自動ルート探索対応：
自動ルート探索が可能です。

〝詳細地図〟対応：
詳しくは、「使用できる地図ディスクについて」（101ページ）をご覧ください。

マップマッチング対応：
詳しくは、「自律航法機能の動作を確認する」（75ページ）および「用語集」（114ページ）をご覧ください。

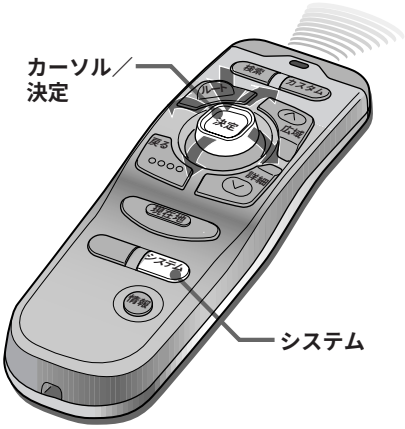
IIS情報対応：
IIS情報（51ページ）が収録されています。

VICS対応：
VICSのレベル3の情報が表示できます。

地図カラー自動切り換え対応：
詳しくは、「システムの設定」（77ページ）をご覧ください。

ジャンクションガイド/ランプガイド対応：
詳しくは、「ルートガイド中の便利な機能」（40ページ）をご覧ください。

システムの設定



本機のシステム上の初期設定を変更できます。

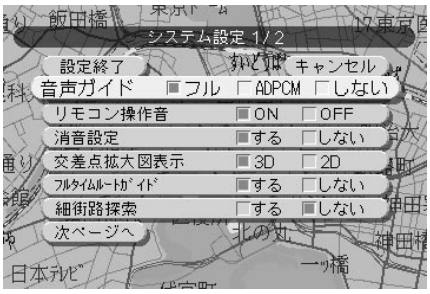
1 **システムボタンを押す**

システムメニューが表示されます。

2 **「システム設定」を選び、決定する**

3 **サブメニューの「システム設定」を選び、決定する**

「システム設定」画面になります。



次ページを表示したいときは
「次ページへ」を選び、決定します。
前ページへ戻したいときは、「前ページへ」を選び、決定します。

4 **必要な項目を選び、カーソル/決定ボタンの左右を押して設定を切り換える**

5 **「設定終了」を選び、決定する**

地図画面に戻ります。

「キャンセル」を選ぶと、設定を取り消します。

次ページへつづく

フルタイムルートガイドについて

ルートガイド中か否かに関わらず、常に次のようなガイド機能が働きます。

- 前方の交差点、ジャンクション、インターチェンジ、料金所の名称や走行中の道路名の表示
- ジャンクションガイド/ランプガイド表示
- 一方通行表示
- 前方の道路状態の音声ガイド

ご注意

- 細街路には、交通規制によって通行できない道や、自動車が走行できないような場所も含まれます。走行の際には周囲の状況に十分注意し、実際の交通規制に従ってください。
- 細街路のルートガイドでは、交差点拡大や音声ガイドは行いません。
- 「する」を設定すると、全てのルート探索について細街路探索を行います。

ご注意

夜間に「地図カラー自動切り替え」を「する」に設定しなおしたときや、地図ディスクを入れ換えた場合、地図カラーが切り換わるまでしばらく時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。

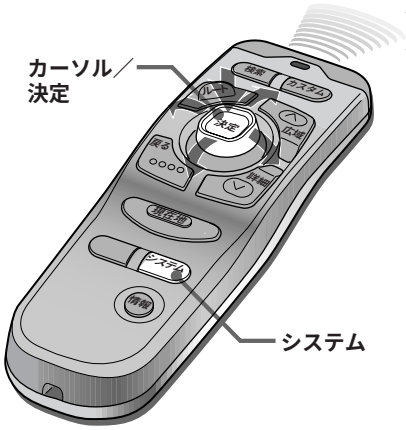
ご注意

地図画面とハイウェイマップが頻繁に切り換わり、見づらいときがあります。これは高速道路と一般道路が平行している場合などに起こります。
このようなときは「ハイウェイマップ自動切り換え」設定を「しない」に切り換えてください。

システム設定の項目

音声ガイド	システム全体の音声ガイドを設定します。「フル」に設定すると、録音された音声と合成音声を用いて音声ガイドを行います。「ADPCM」に設定すると、録音された音声を使っているポイントだけで音声ガイドを行います。「しない」に設定すると、音声ガイドは行いません。
リモコン操作音	リモコン操作時の確認音をON/OFFします。
消音設定	カーステレオで音楽CDを聞くときに「する」にしてください。音声ガイドがあるときは音楽を自動的に消音します。（ソニーのオーディオマスターユニットでATT機能対応モデルに接続したとき）
交差点拡大図表示	交差点拡大表示の「3D」/「2D」を設定します。
フルタイム ルートガイド	フルタイムルートガイドの「する」/「しない」を設定します。フルタイムルートガイドを「しない」に設定すると、画面上部の交差点名/走行道路名の表示が消え、時計表示のみになります。
細街路探索	ルート探索時に細街路まで対象にするとき「する」に設定します。 **細街路とは、通常のルート探索では対象にならない細い道のことです。一方通行や右左折禁止などの情報のない道を含みます。** 細街路探索を「する」に設定すると、出発地、経由地、目的地付近のみを細街路を含めて探索します。 細街路での参考ルートは、ピンク色で表示されます。
地図カラー 自動切り換え	地図の夜/昼モードを自動的に切り換えます。 **地図のカラーは、日付、時刻、緯度経度などの条件により、大まかな夜/昼を本機が判断して切り換えます。** この機能は、地図カラー機能対応ディスクをお使いになった場合のみ働きます。未対応のディスクでは、設定が「する」でも、常に昼モードです。
ハイウェイマップ 自動切り換え	「する」に設定すると、地図画面上に自車マークを表示しているとき、自車が一般道から高速道路に入ると自動的にハイウェイマップ画面に切り換わります。（ルートガイド時のみ）
DGPS**優先受信**	DGPSとVICSのどちらを優先するかを設定します。 「する」に設定すると、DGPS優先で受信しますが、VICSもあわせて受信します。

VICSの設定



VICSの初期設定を行います。
VICS情報の見かたについては、「いろいろな情報を見る」（52ページ）をご覧ください。

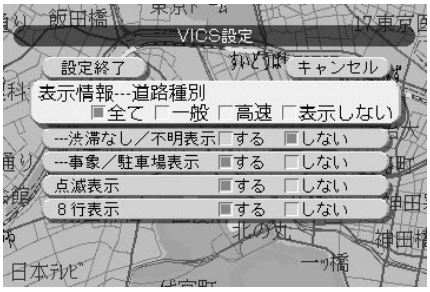
1 システムボタンを押す

システムメニューが表示されます。

2 「システム設定」を選び、決定する

3 サブメニューの「VICS設定」を選び、決定する

「VICS設定」画面になります。

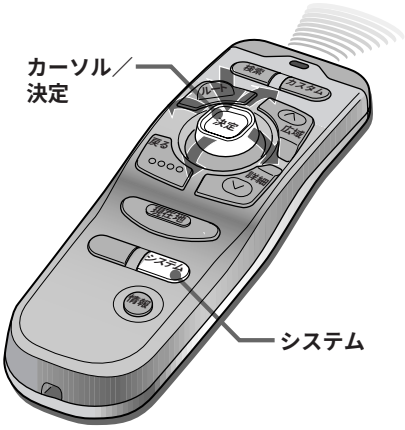


表示情報…道路種別：VICS情報の道路種別による表示を切り換えます。
「全て」：高速道路/一般道路とも表示
「一般」：一般道路のみ表示
「高速」：高速道路のみ表示
「表示しない」：どれも表示しない。

表示情報…渋滞なし・不明：渋滞なし/不明の渋滞線表示の切り換え

表示情報…事象・駐車場：事故や規制・駐車場表示の切り換え

次ページへつづく



ちょっと一言

通常はネットワークサーチ機能により、VICS局を選局する必要はありません。現在地以外のVICS情報を見たいときに行ってください。

VICSを効率よく受信するには
通常は「自動選局」にします。
自動選局でうまく受信できないときは、「手動選局」を選んで、受信したいVICS局の周波数を選んでください。

点滅表示：渋滞線の点滅表示設定

8行表示： 停車中の文字表示を8行にします。2行に変えるときはOFFを選びます。

以下の項目は別売りのビーコンユニット接続時のみ表示されます。

ポップアップ設定：ポップアップの設定
「全て」：文字、図形情報をポップアップ
「図形のみ」：図形情報のみをポップアップ
「OFF」：ポップアップしない。

ポップアップ時間：ポップアップの表示時間を設定します。

情報取得時のチャイム：VICS情報を取得したときのチャイム設定

車種設定：使用車種の設定

ビーコン情報を消す：一時ビーコンの情報を消去し、地図画面上でFM情報を確認できます。新しいビーコンの情報を受信すると、再びビーコンの表示に戻ります。

4 必要な項目を選び、カーソル/決定ボタンの左右を押して設定を切り換える

5 「設定終了」を選び、決定する

地図に戻ります。

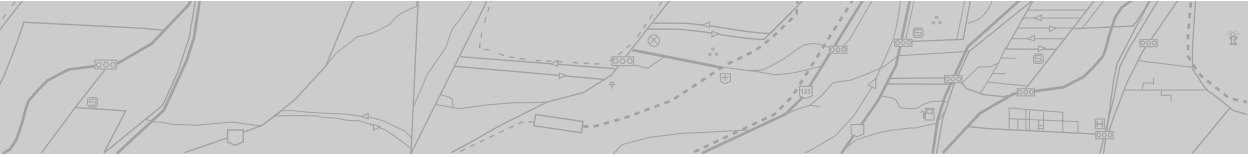
「キャンセル」を選ぶと、設定を取り消します。

VICS局を選局する

1 システムボタンを押す

システムメニューが表示されます。

2 「システム設定」を選び、決定する



ちょっと一言

見たい地域のFM局が受信できるときは、「サーチ」や「手動選局」を使ってVICS局を選び、そのVICS情報を確認します。その後で再び「自動選局」を選んでください。この場合、現在地周辺のVICS情報が得られるようになります。

VICS 表示は、受信している局がVICS局であることを示します。

3 サブメニューの「VICS選局」を選び、決定する

「VICS選局」画面になります。

サーチ： 周波数の高い方向へ自動的にVICS局を探し始め、受信すると周波数を表示します。

手動選局： 周波数入力画面*に切り換わります。

自動選局： 現在の地域のVICS局に自動的に切り換えます。（ネットワークサーチ機能）

4 「この周波数にする」を選び、決定する

地図に戻ります。

***周波数入力画面について**

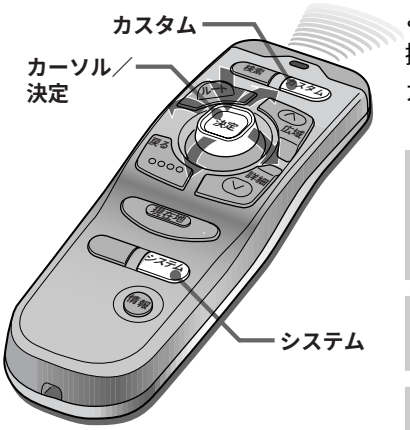
「手動選局」を設定すると、下図のような周波数入力パレットが表示されます。

画面上の数字キーを1字ずつ選び、決定します。
入力後、「設定」を選択して決定します。

入力位置を移動するには

⇦または⇨ボタンを選択して、決定します。

よく使う機能をカスタムメニューに登録する



よく使うメニュー項目をカスタムメニューに登録しておくと、簡単な操作で使うことができます。
カスタムメニューには、最低1つの項目を登録する必要があります。

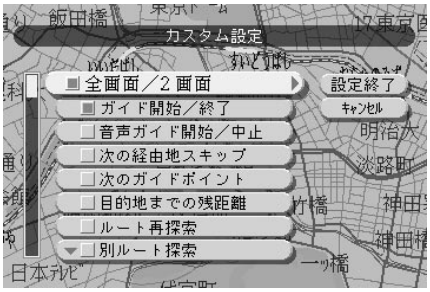
1 システムボタンを押す

システムメニューが表示されます。

2 「システム設定」を選び、決定する

3 サブメニューの「カスタム設定」を選び、決定する

カスタムメニューに登録できる項目がリスト表示されます。



4 カーソル/決定ボタンの上下を押して登録する項目を選び、カーソル/決定ボタンの左右を押して選択マーク（チェック）をつける

すでにチェックされている項目は、カーソル/決定ボタンを押すと、チェックがはずれます。

5 「設定終了」を選び、決定する

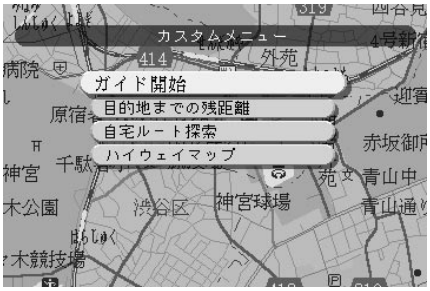
地図に戻ります。

「キャンセル」を選ぶと、設定を取り消します。

カスタムメニューに登録した機能を使うときは

1 カスタムボタンを押す

登録してあるカスタムメニューが表示されます。



2 カーソル/決定ボタンの上下を押して実行したい機能を選び、決定する

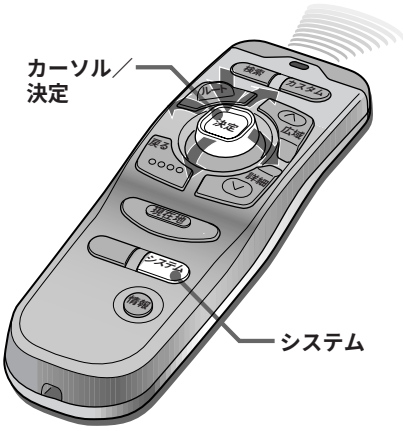
カスタムメニューに登録できる機能

全画面／2画面	交差点拡大図やジャンクションガイドで画面全体、または半分を表示します。
ガイド開始／終了	ルートガイドを開始または終了します。（ルートが設定されていて、ルート探索が終了しているときに有効）
音声ガイド開始／中止	音声ガイドを開始、または中止します。
次の経由地をスキップ	現在向かっている経由地を飛ばして、次の経由地または目的地に対するルートガイドを行います。（経由地が設定されていてルートガイド中に有効）
次のガイドポイント	次のガイドポイントの交差点拡大図またはジャンクション／ランプガイドを表示し、音声で案内します。（ルートガイド中に有効）
目的地までの残距離	目的地までの残距離を音声ガイドします。（ルートガイド中に有効）
ルート再探索	ルートを再探索します。常に自車位置からの探索になります。（ルート設定済みのときに有効）
別ルート探索	現在のルートと違うルートを探索します。常に自車位置からの探索になります。（ルート設定済みのときに有効）
自宅ルート探索	現在地から自宅までのルートを探索します。（自宅設定済みのときに有効）
一般道優先探索	一般道路優先でルートを再探索します。（ルート設定済みのときに有効）
高速道路優先探索	高速道路優先でルートを再探索します。（ルート設定済みのときに有効）

次ページへつづく

全ルート表示	全ルートを表示します。（ルートガイド中に有効）
測位情報	測位情報画面を表示します。
アンテナアップ／ダウン	アンテナの上げ下げを実行します。（オートアンテナ機能が付いている車に、ナビシステムのANT REM端子を接続したときに有効） **オートアンテナ機能について** 立体駐車場に入るとき、アンテナを収納する場合はカスタムメニューの「アンテナダウン」を選んで、カーソル/決定ボタンを押します。アンテナが収納されているときは、カスタムメニューは「アンテナアップ」と表示され、再びアンテナを上げるときに選択します。
ガイドルートスクロール	ガイドルートスクロールを開始します。（40ページ）
ハイウェイマップ／地図画面	ハイウェイマップと通常の地図画面を切り換えます。（初期設定でカスタムメニューに登録されています。）ルートガイド時やフルタイムルートガイド時で自車が高速道路を走っている場合にハイウェイマップが表示されます。

モニターの設定



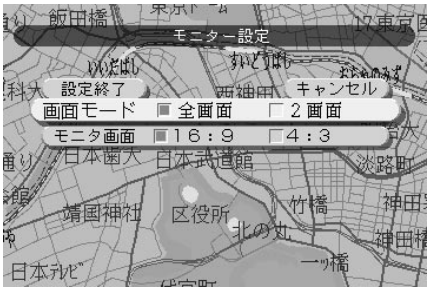
ソニーの20ピン対応モニター（XTL-770Wなど）を接続した場合は
自動的に設定されるため、「モニター設定」の操作は不要です。

ポップアップ画面の表示を、地図画面との2画面で表示するかどうかを設定します。

1 システムボタンを押す

システムメニューが表示されます。

2 「モニター設定」を選び、決定する



画面モード：分割画面についての設定を行います。

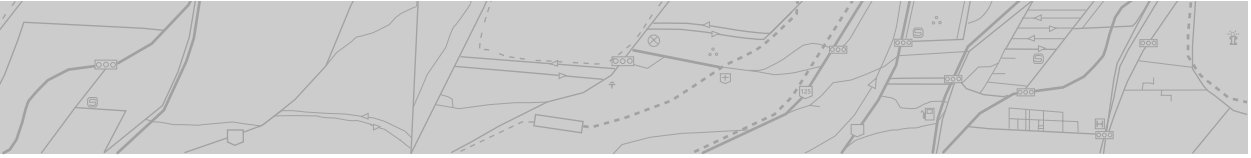
全画面： 画面全体にポップアップ画面（交差点拡大図やジャンクションガイドなど）を表示します。

2画面： 地図画面との2画面に分割して、ポップアップ画面を表示します。

モニター画面：接続したモニターのタイプに合わせてください。

16:9： ワイド画面（16:9画面）に適した映像を出力します。

4:3： 4:3画面に適した映像を出力します。



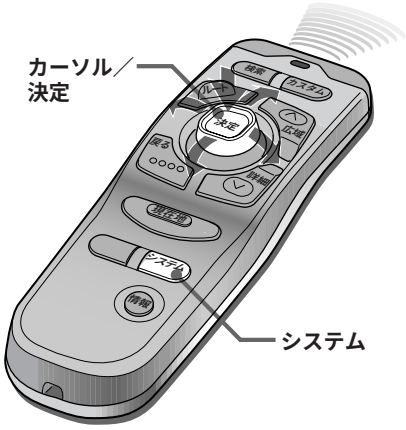
3 **カーソル/決定ボタンの上下を押して登録する項目を選び、カーソル/決定ボタンの左右を押して選択マーク（チェック）を切り換える**

4 **「設定終了」を選び、決定する**

地図に戻ります。

「キャンセル」を選ぶと、設定を取り消します。

FM選局の設定



プリセットリストを工場出荷時の状態にするには

「初期値」を選んで、決定します。

FM文字多重放送局の選局は、プリセットリストの番号から選択する方法と、プリセットリストにない放送局を自動または手動で受信する方法があります。

1 **システムボタンを押す**

システムメニューが表示されます。

2 **「システム設定」を選び、決定する**

3 **サブメニューの「FM多重選局」を選び、決定する**

プリセット局のリストが表示されます。

4 **受信したいプリセット局リストを選び、決定する**

選択したプリセット局の番組画面に切り換わります。

ご注意

- 電波の状態により、受信するまでに多少の時間がかかることがあります。
- 通常のFM放送が受信できていても、受信状況によっては、文字データは受信できないことがあります。

FM 表示は、受信している局がFM文字多重放送局であることを示します。
DGPS 表示は、受信している局がD-GPS局であることを示します。D-GPS局は自動的に受信するため、選局する必要はありません。

自動で選局する

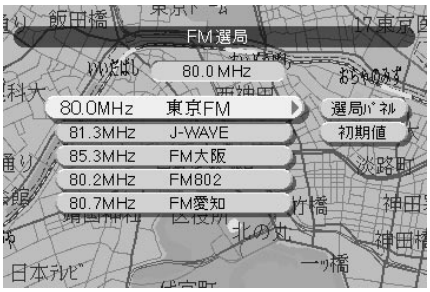
プリセットリストにない放送局を、自動的に受信します。

1 システムボタンを押す

システムメニューが表示されます。

2 「システム設定」を選び、決定する

3 サブメニューの「FM多重選局」を選び、決定する



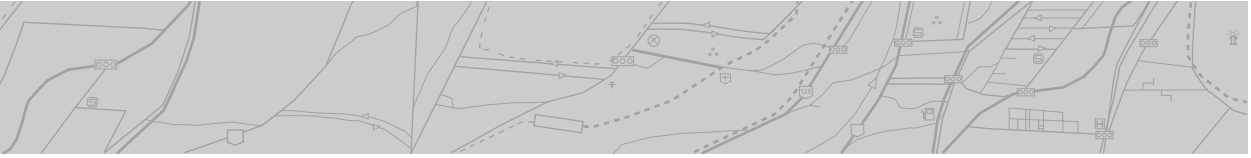
4 「選局パネル」を選び、決定する

サーチ：周波数の高い方向へ自動的にFM局を探し始め、受信すると周波数を表示します。

手動選局：周波数入力画面*に切り換わります。

5 「この周波数にする」を選び、決定する

地図に戻ります。



ご注意

プリセットリストに登録した後、電源を切るときは地図画面に戻してから電源を切ってください。プリセットリストのまま電源を切ると、登録した内容が保存されないことがあります。

***周波数入力画面について**

「手動選局」を設定すると、下図のような周波数入力パレットが表示されます。

数字キーを1字ずつ選んで、決定します。
入力後、「設定」を選択して決定します。

入力位置を移動するには

⇦または⇨ボタンを選択して、決定します。

受信局をプリセットリストに登録する

現在受信している放送局をプリセットリストに登録します。

1 「FM選局」画面（85ページ）で「選局パネル」を選び、決定する

「選局パネル」画面になります。

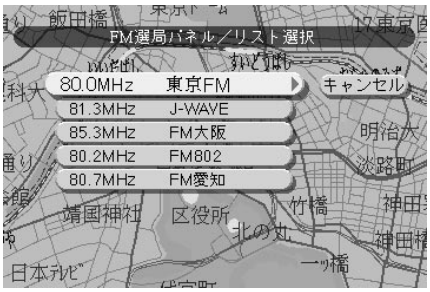
次ページへつづく

ご注意

- 車のアンテナが収納された状態では、「緊急情報」の受信はできません。
- 受信した内容を見るときは、実際の交通規則に従い、車を安全な場所に停車してください。
- 受信状況により、送信された緊急情報をすべて受信できるとは限りません。

2 「リストに加える」を選び、決定する

「リスト選択」画面になります。



3 登録したいプリセット局リストを選び、決定する

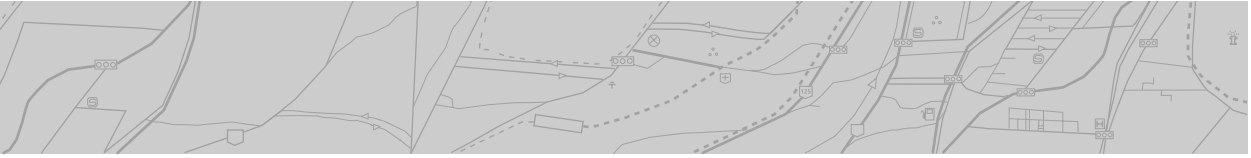
すでに放送局が登録されている番号を指定すると、古い放送局はキャンセルされます。

緊急情報は

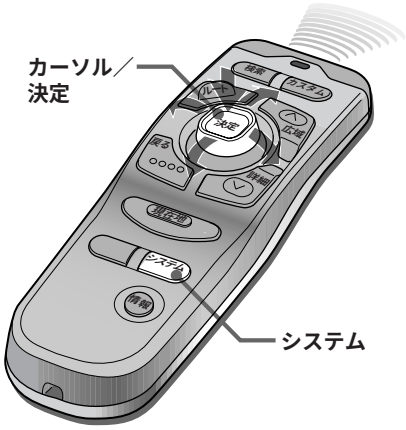
災害時などにFM文字多重放送局が送信する緊急情報を、本機が受信したとき、画面に優先的に表示する情報です。

緊急情報について

災害に関する緊急情報は、本来、法令に基づき、国または地方自治体が適切な手段を選んで国民に伝達するものですが、その補助的な手段の一つとして放送電波を利用したものが、この緊急情報です。
本機は、緊急警報を受信できるようにしたものですが、本機自体で災害による被害を予防したり損害を回避できるものではありません。
従って、緊急事態発生時に、万一、本機の不具合や、取扱いの誤り等により、情報伝達が行われなかった場合でも、災害により発生した損害について補償するものではありませんので、このことをご理解のうえ、本機をご利用ください。



3Dビュー画面の角度の設定



3Dビュー画面の視点の位置を調整できます。

1 システムボタンを押す

システムメニューが表示されます。

2 「3D角度設定」を選び、決定する

3 カーソル/決定ボタンを上下に押し、お好みの角度に設定して決定する

4 カーソル/決定ボタンを押す

3Dビューの地図になります。

スタンダードビューに戻すには、現在地ボタンを押してから、カーソル/決定ボタンを押して決定メニューを表示し、「スタンダードビュー」を選んで決定します。

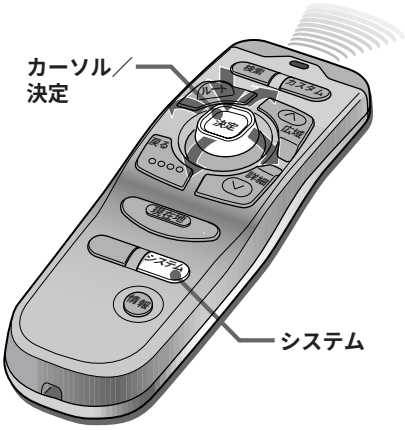
ちょっと一言

傾斜角度は80°～10°まで変えられます。数値が小さいほど、空の部分が広くなります。角度により調整時のステップは異なります。

ご注意

3D角度設定の画面では、リモコンの広域/詳細ボタンは使えません。

自車位置を修正する



次のようなときなどに、自車位置の修正をおすすめします。

- フェリーなどで移動した後、GPS衛生からの電波を受信するまで自車マークが現在地と一致しないとき
- 実際に走行している道から自車マークが大きくはずれているとき
- 本機の電源を切って走行し、再び電源を入れたとき

1 システムボタンを押す

システムメニューが表示されます。

2 「自車位置修正」を選び、決定する

3 ＋マークを正しい自車位置に合わせ、決定する

自車マークは色が変わり、＋マークの位置に表示されます。

4 カーソル/決定ボタンを左右に押して自車マークの向きを進行方向に合わせ、再度ボタンを押す

地図に戻ります。

ご注意

自車位置修正などのメニュー操作は、走行中に行うことはできません。必ず安全な場所に車を停車させてから、操作してください。

自車位置の修正を中止するには

リモコンの戻るボタンを押します。

画面の位置を微調整する

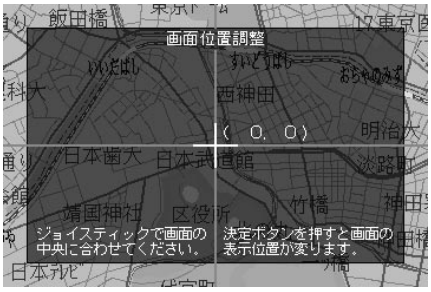
この機能は、画面の中心位置のずれを調整するためのものです。

1 システムボタンを押す

システムメニューが表示されます。

2 「画面位置調整」を選び、決定する

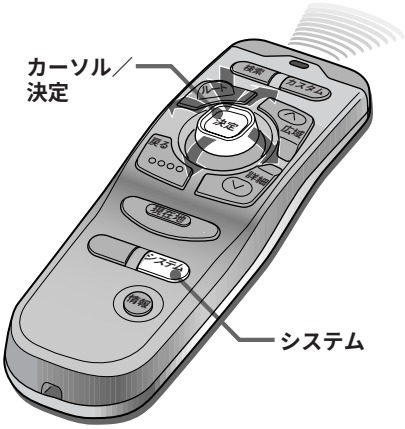
「画面位置調整」画面になります。



3 カーソルボタンを上下左右に押して＋位置を画面の中央に合わせ、決定する

地図に戻ります。

インターネットの設定



この項目は、別売りのPDCインターネットユニットを接続したときのみ表示されます。インターネットユニットを接続したときは、必ずこれらの設定を行ってください。

接続先の電話番号を設定する

接続先の電話番号は、ご契約のプロバイダーにご確認ください。

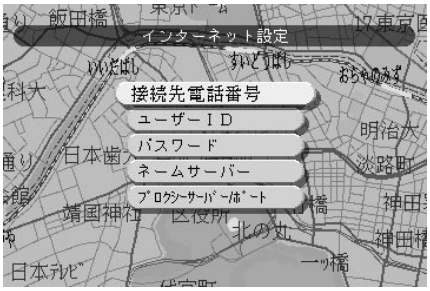
1 システムボタンを押す

システムメニューが表示されます。

2 「システム設定」を選び、決定する

3 「インターネット設定」を選び、決定する

「インターネット設定」画面になります。

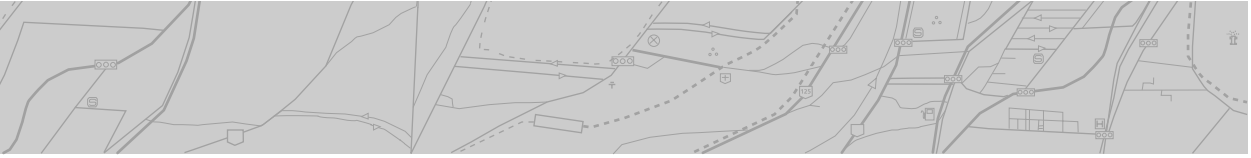


間違った文字を入力したときは
削除したい文字にカーソルを移動してから、「削除」を選択して、決定します。

入力位置を移動するには
⇦または⇨ボタンを選択して、決定します。

文字を挿入するには
⇦または⇨ボタンで挿入位置を決め、「挿入」を選択してから、文字を入力して決定します。

入力したすべての文字を削除するには
「全削」を選択して、決定します。



4 「接続先電話番号」を選び、決定する

「接続先電話番号設定」画面が表示されます。

5 番号を1文字ずつ選び、決定する

携帯電話からかけるため、市外局番から入力してください。

「変更」欄に入力内容が表示されます。

6 「設定」を選び、決定する

「インターネット設定」画面に戻ります。

「キャンセル」を選ぶと、設定を中止します。

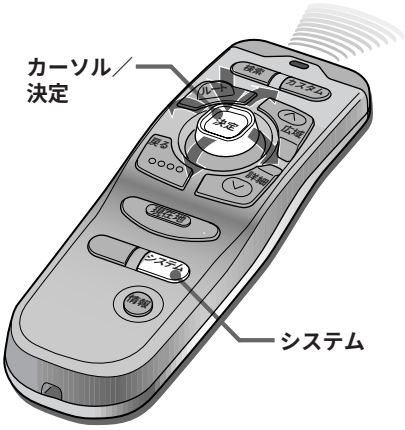
ユーザーIDを設定する

ユーザーIDは、ご契約のプロバイダーにご確認ください。

1 インターネット設定画面で「ユーザーID」を選び、決定する

「ユーザーID設定」画面が表示されます。

次ページへつづく



2 **文字を1文字ずつ選び、決定する**

表示欄に入力内容が表示されます。

入力方法は、URL入力の場合と同じです。

3 **「設定」を選び、決定する**

「インターネット設定」画面に戻ります。

「キャンセル」を選ぶと、設定を中止します。

パスワードを設定する

パスワードは、ご契約のプロバイダーにご確認ください。

ご注意

パスワードを変更するときは、手順1から改めて操作してください。

1 **インターネット設定画面で「パスワード」を選び、決定する**

「パスワード設定」画面が表示されます。

2 **文字を1文字ずつ選び、決定する**

すでにパスワードが入力されているときは「＊＊＊」で表示されています。新たに入力すると、すべて消去されて上書きになります。

入力方法は、URL入力の場合と同じです。

3 **「設定」を選び、決定する**

「キャンセル」を選ぶと、設定を中止します。

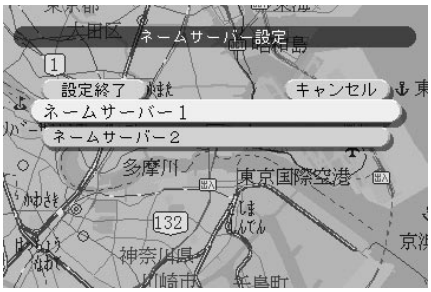
ネームサーバーを設定する

ネームサーバーは、2つまでの設定が可能です。
お買い上げ時、以下の設定は、So-net*で指定する値に設定されています。詳しくは別紙の「インターネットを見るには」をご覧ください。

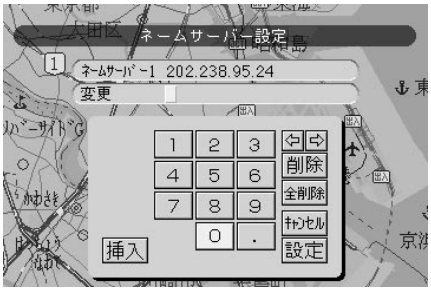
- ネームサーバー1：202.238.95.24
- ネームサーバー2：202.238.95.26
- ポート：8080
- プロクシーサーバー：proxy01.so-net.ne.jp

* So-netはインターネットプロバイダーの会社名です。

1 インターネット設定画面で「ネームサーバー」を選び、決定する



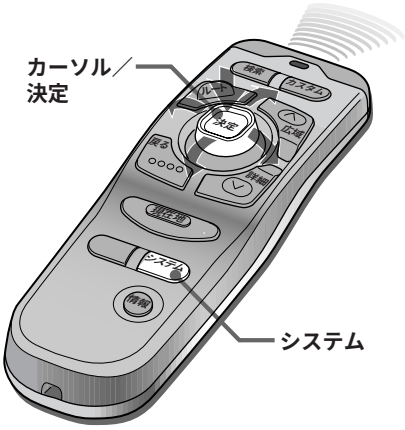
2 「ネームサーバー1」または「2」を選び、決定する



入力方法は、電話番号の場合と同じです。

3 数字を1文字ずつ選び、決定する

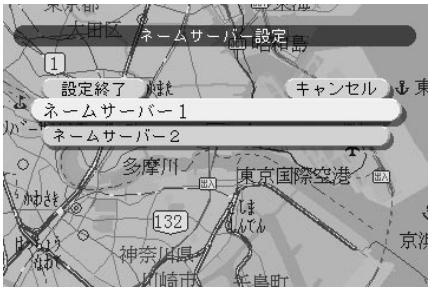
次ページへつづく



4 **「設定」を選び、決定する**

ネームサーバー選択画面に戻ります。

「キャンセル」を選ぶと、設定を中止します。



5 **「設定終了」を選び、決定する**

設定操作を終了し、地図に戻ります。

「キャンセル」を選ぶと、設定を中止します。

プロクシーサーバーとポートを設定する

契約しているプロバイダーによっては、プロクシーサーバーの設定と、サーバーで使用するポート番号の設定が必要です。

1 **インターネット設定画面で「プロクシーサーバー／ポート」を選び、決定する**

「プロクシーサーバー設定」画面が表示されます。

2 **文字を1文字ずつ選び、決定する**

表示欄に入力内容が表示されます。

入力方法は、URL入力の場合と同じです。

ご注意

プロクシーサーバーとポートの設定については、必ずプロバイダーの指定に従ってください。
契約先のプロバイダーによっては、プロクシーサーバーとポートの設定がないことがあります。その場合は、上記の手順2で「全削除」を選び、プロクシーサーバー欄を空欄にしてください。

3 「設定」を選び、決定する

「ポート設定」画面が表示されます。

4 数字を1文字ずつ選び、決定する

変更欄に入力内容が表示されます。

入力方法は、電話番号の場合と同じです。

5 「設定」を選び、決定する

設定操作を終了し、地図に戻ります。

「キャンセル」を選ぶと、設定を中止します。

テレビを見る（NVX-W1のみ）

NVX-W1をお使いの場合、別売りのソニー製テレビXTL-770WやXTL-77Vを本機のリモコンで操作することができます。
音声はテレビに内蔵のスピーカーで聞くことができます。
NVX-FW1をお使いの場合、付属のテレビ用リモコンで操作します。詳しくは、別冊のテレビ用取扱説明書をご覧ください。

1 モニターのTV/VIDEOボタンを押す

テレビ画面になります。

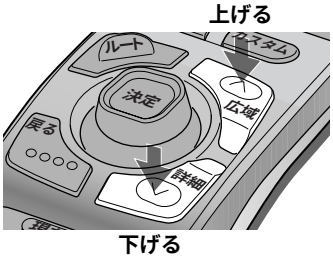
2 チャンネルを選ぶ

自動選局

受信できるチャンネルを自動的に探しながら選局します。

手動でチャンネルを切り換えるには、カーソル/決定ボタンの上下を押します。

3 音量を調節する



調節のしかた

画面を見ながら、リモコンでボリュームをセンター付近に調節したあとモニターのVOLコントロールを調節して、適度な音量になるようにしてお使いください。

ズームボタンで音量を上げても、音量が大きくならないときは、モニターのVOLコントロールで音量を上げてください。

安全運転のために

- テレビ画面は、パーキングブレーキを引いて車が停車中でないと見ることはできません。パーキングブレーキを戻すと、安全のために下のような画面を約5秒間表示した後、自動的にテレビ画面を消し、音声のみとなります。

安全のため走行中は
映像が出ません

- テレビ放送などを見るときは、安全な場所に停車してご覧ください。

その他

誤差について

GPS衛星自体による誤差

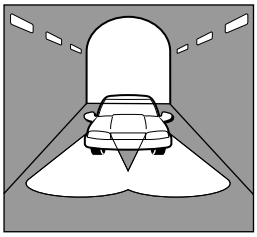
本機では、3個以上のGPS衛星*からの電波を受信すると自動的に現在地を測位しますが、場合によっては約200メートルの誤差を生じることがあります。また、GPS衛星は米国国防総省によって管理されていますので、意図的に測位精度が変更され、誤差が大きくなることもあります。このような場合は、実際に走行している道と地図上での自車マークの位置が完全には一致しなくなり、実際に走行している道とは異なる道路に自車マークが表示されることもあります。

* GPS衛星について、詳しくは「用語集」（114ページ）をご覧ください。

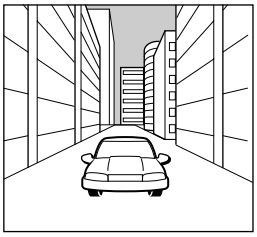
衛星からの電波が受信できないとき

GPS衛星からの電波がとどかないトンネルの中や地下、電波をさえぎる高い建物や樹木などの障害物がある場合では、実際の車の位置と自車マークがずれることがあります。

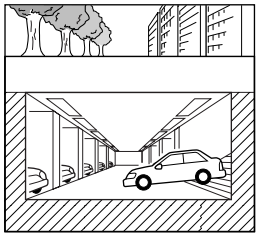
トンネルの中



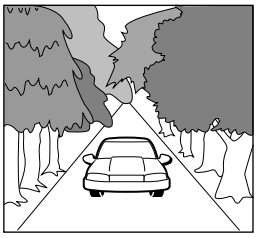
高層ビルの間



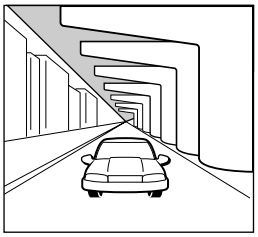
地下



密集した樹木の間



高架の下



誤差が大きくなるとき

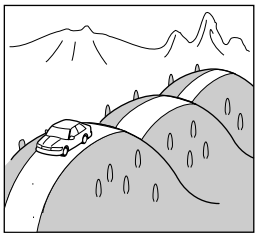
衛星からの電波が受信できないときでも、本機は自律航法とマップマッチングによって、誤差を小さく抑さえることができます。

*「自律航法」「マップマッチング」について、詳しくは「用語集」（114ページ）をご覧ください。

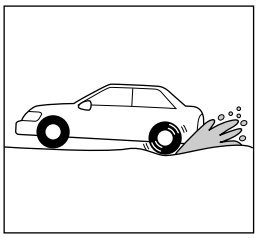
ただし、次のような状況では自律航法*やマップマッチング*が正しく働かず、誤差が大きくなることがあります。

走行状態が正しく測定できない

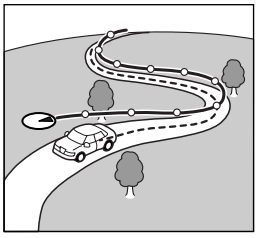
勾配の急な山道



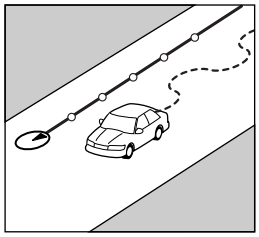
雪道や砂利道でのスリップ



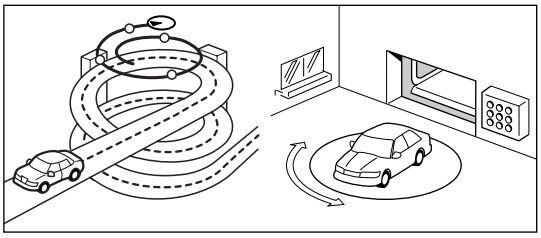
ヘアピンカーブ



蛇行運転

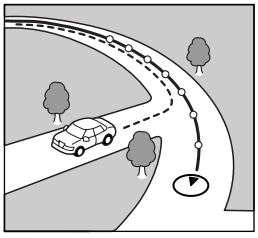


ループ橋やターンテーブルでの旋回

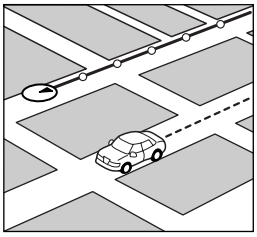


マップマッチングで自車マークが他の道路にのってしまう

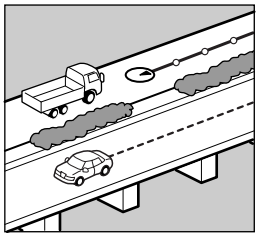
角度の小さなＹ字路



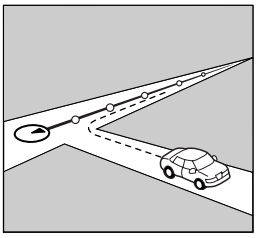
並行している道がある



上り下り二車線の場合

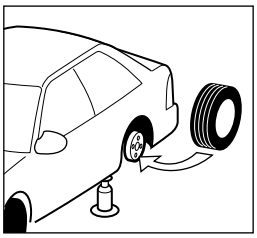


長い直線や緩やかなカーブが続いた直後

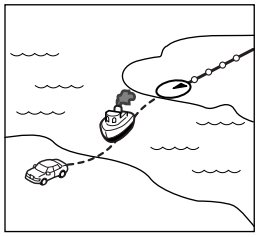


その他

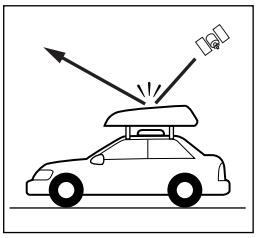
タイヤやチェーンの交換後



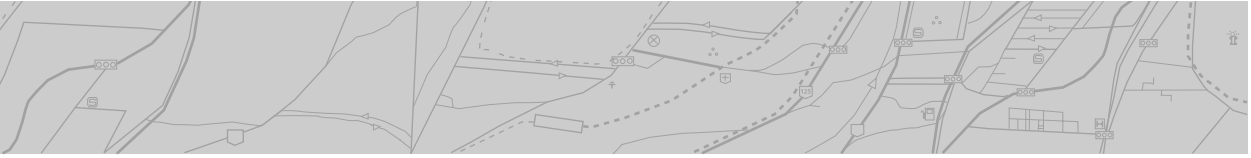
フェリーなどで移動したあと



GPSアンテナがルーフキャリアの下に設置してあるとき



電源を切って走行したあとに電源を入れたとき



誤差を小さくするために

30分間の走行を!

初めて本機を取り付けたときや、別の車に本機を付け換えたときなどに、しばらくのあいだ現在位置表示の誤差が大きくなることがあります。これは、車種によって異なる車速パルスの種類を自動的に算定したり、タイヤ径などによって生じる車速パルスの誤差を補正したりといった計算を行っているためで、故障ではありません。
正常に動作するまでのあいだ、約30分間、GPS衛星からの電波を受信した状態で走行してください。
リセットボタンを押したあとや、自車マークが黒の状態で電源を切って再び電源を入れたあとなども同様に操作してください。

5秒間の停車を!

車のキーをON位置にしてすぐに車を発進させると、自車マークが実際の走行方向と違う方向に進むことがあります。この場合、しばらく走行すると正しい位置に表示されますが、測位の精度を上げるためには、約5秒間停車することをおすすめします。

使用できる地図ディスクについて

本機はナビ研S規格専用です。本機で使用する地図ディスクは、必ずナビゲーションシステム研究会統一S規格のシンボルマーク(ナビ研S規格)マークがついている地図ディスクをお使いください。
ナビ研S規格のマークのついている地図ディスクは、ナビゲーションシステム研究会の共通規格の基づいて作成、販売されている地図ディスクです。このマークがついている地図ディスクは、その製造メーカーにかかわりなく本機で使用できます。

本機は地図ディスクの次の機能にも対応しています。

最寄り：最寄り検索

JCT：ジャンクションガイド

ランプ：ランプガイド

索引：索引

推奨ディスク
ゼンリン　ナビソフトドライブマップ2 Super関東版III
その他の地域版シリーズ

naviken S　naviken S

ナビゲーションシステム研究会統一S規格マーク

ご注意

地図ディスクについて

- 本機はナビ研S規格専用機です。
- 付属の地図ディスクをお使いになると、ルートガイドや交差点拡大機能などを利用することができますが、地図ディスクの種類によっては、次の機能がご利用になれない場合があります。
  「自動ルート探索機能」
  「ルートガイド機能」
  「交差点拡大表示」「交差点名案内」
  「最寄り検索」「電話番号検索」
  「施設検索」「住所検索」
- 自動経路探索対応の地域別地図ディスクをお使いになるとき、経路データが収録されている地図エリアの端付近で自動ルート探索を行うと、目的地までのルートが見つからない場合があります。このような地域で自動ルート探索を行う場合は、自動経路探索対応の全国版地図ディスクをお使いください。
- マップマッチングは、マップマッチング用の道路データが収録された地図ディスクの場合のみ働きます。
- 使用する地図ディスクが対応している機能を知りたいときは、「地図ディスクの情報を見る」(76ページ) をご覧ください。

地図ディスクについて詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。

本書で使用している地図画面は説明用のものです。
また、地図画面の色や内容は、お使いになる地図ディスクにより異なりますので、ご了承ください。

〝詳細地図〟について

ナビ研S規格の地図ディスクは、従来よりもさらに詳細な縮尺(25～50m)の〝詳細地図〟に対応しているものがあります。

従来地図

〝詳細地図〟

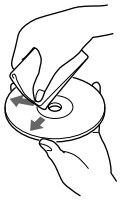
地図ディスクについて詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。

保存

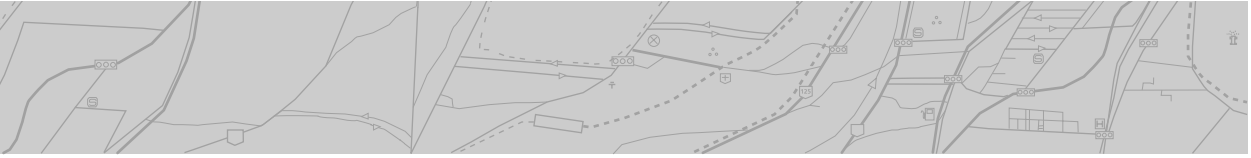
直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高い場所には置かないでください。
特に夏季、直射日光下で閉め切った車のシート、ダッシュボードの上などはかなり高温になりますので、絶対に放置しないでください。

お手入れ

ご使用になる前に、記録面についたホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向へふきとってください。



ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。
静電気防止剤なども、逆に地図ディスクを傷めることがありますので使用しないでください。



結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、地図ディスクプレーヤー内部の光学系のレンズに露(水滴)を生じることがあります。このような現象を結露といいます。
結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、地図ディスクプレーヤーが動作しないことがあります。
周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

メニューの種類について

ご注意

走行中に、検索メニューは使用できません。

安全のため、パーキングブレーキを引いて車が停車している状態でないと設定や登録などの複雑な操作はできません。
また、走行中に操作できないメニュー項目は、リストに現われません。
走行中に表示されるメニューは、以下のとおりです。

決定メニュー

- ノースアップ（またはヘディングアップ）
- マーク設定
- VICS情報（カーソルがVICSシンボル位置にあるとき）
- 3Dビュー/スタンダードビュー（自車位置のとき）

ルートメニュー

- ガイド終了（またはガイド開始）

情報メニュー

- VICS交通情報
- VICS図形情報
- VICS文字情報

システムメニュー

- 情報（測位情報／システム情報）

カスタムメニュー

- 登録済みカスタムメニュー項目

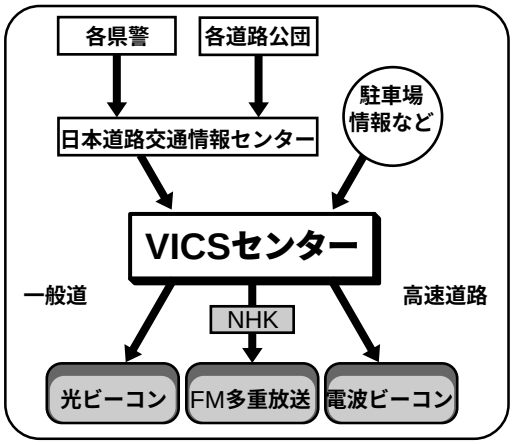
VICSについて

VICSとは

VICS（Vehicle Information and Communication System）とは、最新の道路交通情報をドライバーにリアルタイムに提供し、交通渋滞の緩和と安全性の向上をはかる道路交通情報通信システムです。従来の道路交通情報は、都道府県の警察や各道路公団等によって情報収集され、それぞれが交通情報を発信すると同時に日本道路交通情報センターでまとめて発信されていました。
VICSセンターは、官学民の協力によってこれらの情報を一元化し、リアルタイムで、より精度の高い交通情報を提供することなどを目的にして設立された財団法人です。

* VICSは、東京、神奈川、千葉、埼玉、長野、愛知、大阪、京都、兵庫、全国都市間高速道路がサービス地域です。（'98年3月現在）

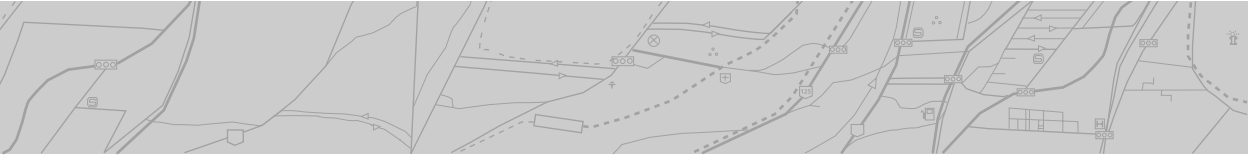
VICSのしくみ



本機で受信するVICS情報
VICSセンターが提供する情報は、各都道府県単位の広域情報（FM多重放送で提供）と高速道路上など限定地域での詳細情報（電波ビーコン、光ビーコンで提供）に大きく分かれます。
- 本機が受信するVICS情報は、FM多重放送で提供される広域道路交通情報のみです。
- 情報は都道府県単位で、高速道路情報などを加えて発信されます。
- 内容は5分ごとに更新されます。（2.5分単位で2回送信）
- FM放送とFM多重放送では受信可能エリアに差があります。そのため、FM放送が受信できる地域でもFM多重放送が受信できない場合があります。VICS情報はVICSセンターがNHKの設備を使って放送しているもので、NHKのFM文字多重放送とは異なります。また、全国すべてのNHK放送局から発信されているものではありません。
- 電波ビーコン、光ビーコンによるビーコン情報を受信するには、別売りのビーコンユニットNVA-VB1が必要です。

VICSが提供する情報の種類

VICSセンターが供給するサービス情報には、次のような種類があります。
- **渋滞情報**（渋滞地点、渋滞区間など）
- **所要時間情報**（主要地点間の所要時間）
- **交通障害情報**（事故、故障車、工事など）
- **交通規制情報**（通行止め、速度規制、車線規制など）
- **駐車場情報**（駐車場、パーキングエリア、サービスエリアなどの混雑状況など）



VICS情報の表示について

VICS情報は次の3種類の表示方法で見ることができます。

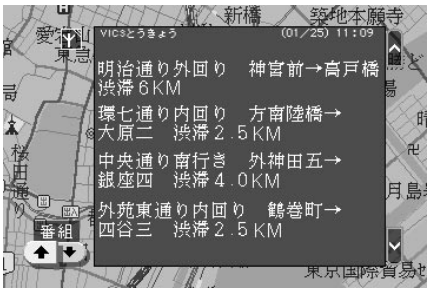
VICS情報の受信上のご注意

電波ビーコンや光ビーコンの特性上、次のようなことがありますが、故障ではありません。

- 高速道路付近の一般道路走行中に、高速道路のVICS情報を受信することがあります。
- 一般道路走行中に、対向車線のVICS情報を受信することがあります。
- トンネルの中では、VICS情報を受信しないことがあります。
- 大型車と並走していたり、大型車を追い越したときに、VICS情報を受信しないことがあります。
- 幅の広い道路や車線数の多い道路では、VICS情報を受信しないことがあります。

レベル 1（文字情報表示）

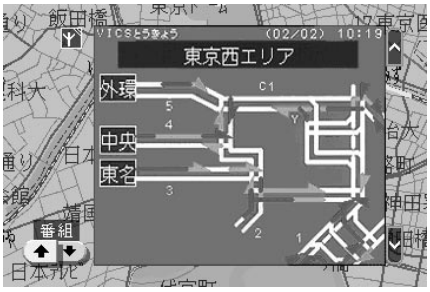
高速道路や一般道路のVICS情報を文字表示します。



レベル 2（図形情報表示）

交差点の道案内標識のようなパターン化された図形でVICS情報を表示します。

高速道路での各インターチェンジ間の所要時間などを図で示すこともできます。



レベル 3（地図情報表示）

カーナビゲーションシステムの地図画面上にVICS情報を重ねて表示します。

レベル3画面上には、情報の提供時間とメディアのシンボルが表示されます。

現在の走行地点と渋滞状況などが一目でわかります。

渋滞：赤色のライン

混雑：燈色のライン

渋滞なし：緑色のライン

不明：グレイのライン

渋滞方向：それぞれのラインに矢印で表示

駐車場、SA/PA（サービスエリア/パーキングエリア）情報、事故/規制などの情報は、それぞれアイコンで表示されます。表示されたアイコンにカーソルを合わせて決定ボタンを押すとさらに詳細な情報を文字で表示します。

NVA-VB1を接続していると

別売りのビーコンユニットNVA-VB1を接続すると、本機のみのVICS機能に加えて以下の機能が利用できます。
追加機能を有効にするには、ルートメニューの「探索条件設定」画面の「VICS使用」を「する」に設定し、「探索モード」を選択します。
（詳しくは、35ページをご覧ください。）

渋滞回避リルート機能（探索モード「渋滞回避」）
VICSセンターから提供される最新の道路交通情報を受信し、ルート上に渋滞や道路規制などがあった場合、それらを回避するリルートを行います。リルートされたときは、「ルートが変わりました」と音声ガイドされます。

サービスエリア／パーキングエリア情報
ハイウェイマップ上にサービスエリアやパーキングエリアのサービス内容、混雑状況が表示されます。

SA/PA**のサービス内容・混雑状況**

VICSに関するお問い合わせ

VICSの概念・計画・表示内容	（財）VICSセンター TEL（03）3592-2033（東京） TEL（06）209-2033（大阪） 電話受付期間：9:30〜17:45（土日、祝祭日は除く） FAX（03）3592-5494（24時間受付）
表示内容（レベル3） サービス エリア、受信可否、車載機の調子、機能、使いかた	ソニーご相談窓口 （付属の「ソニーご相談窓口のご案内」をご覧ください。）

VICSの運用時間

FM多重	朝6:00〜翌朝1:00
ビーコン	24時間

NVA-VB1接続時の初期設定について
NVA-VB1を接続しているときは、VICS設定画面（79ページ）に、以下の項目が追加されます。

ポップアップ設定
「全て」：文字、図形情報をポップアップ
「図形のみ」：図形情報のみをポップアップ
「OFF」：ポップアップしない。

ポップアップ時間
ポップアップの表示時間を設定します。

情報取得時のチャイム
VICS情報を取得したときのチャイム設定

車種設定
使用車種の設定

ビーコン情報を消す
一時ビーコンの情報を消去し、地図画面上でFM情報を確認できます。新しいビーコンの情報を受信すると、再びビーコンの表示に戻ります。

ご注意
ルートガイド中は交差点拡大図の表示が優先され、ビーコン図形情報が表示されない場合があります。

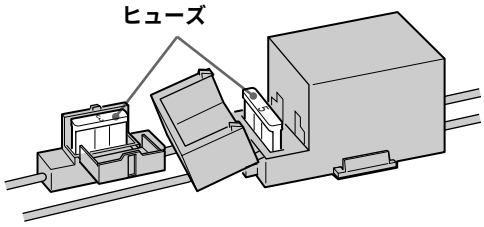
ご注意/お手入れ

プラスチック部品について

リモコンやモニターなどのプラスチック部品に、殺虫剤やヘアスプレー、ガラスクリーナーなどをかけたり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品を長時間接触させないでください。表面が変質・変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズの交換

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



GPSアンテナ

- GPSアンテナを取りはずすときに、アンテナコードを引っ張らないでください。
- 携帯電話などの強い電波を出す機器をGPSアンテナの近くに置かないでください。

地図ディスクプレーヤー

水がかからないようにしてください。特に、水にぬれた靴や傘、ボディーカバー等の水滴が直接かからないようにご注意ください。

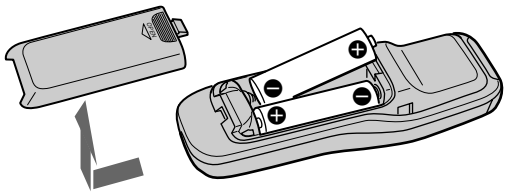
内蔵のリチウム電池について

地点、マークなどのメモリーは、本体内蔵のリチウム電池で保持しています。リチウム電池の寿命は使用状態で異なりますが、約4～5年です。リチウム電池の交換については、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

リモコン

電池の入れかた

単3形乾電池2本(付属)を＋と－を正しく入れる。



乾電池について

電池の交換時期

普通の使いかたで約6か月もちますが、カーソルボタンでスクロールの操作をひんぱんに行うと、電池の寿命は短くなります。電池が消耗するとボタンを押しても操作できないこともあります。リモコンがまったく動作しない場合は電池を交換し、動作を確認してください。リモコンの操作ボタンを押したとき、LEDの点滅が弱くなった場合は、電池の寿命です。

リモコンについてのご注意

- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにリモコンを取り付けたり放置しないでください。熱によりリモコンが変形するおそれがあります。（特に夏季の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください。）
- 直射日光の当たるところに車を駐車するときは、リモコンを取り付け場所からはずし、グローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。
- 直射日光下ではリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、モニターの受光部にリモコンを近づけて操作してください。

その他

レーダー探知機などを動作させると、その電波の影響により本機や本システムが正しく動作しないことがあります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

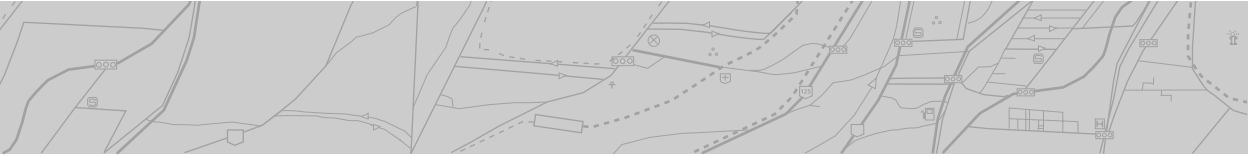
⚠警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

⚠注意

- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

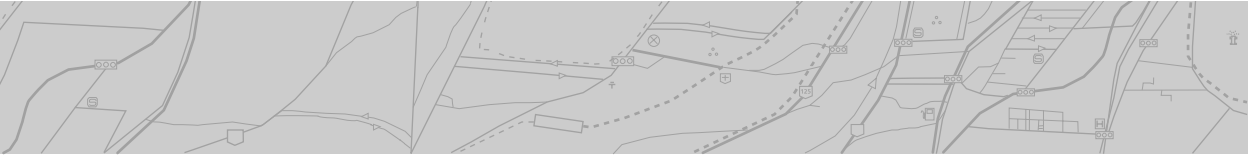


メッセージが出たら

●内のページに、詳しい説明があります。

メッセージ	原因	処置
「あと××個のマークがつけられます。」	マーク用のメモリーが残り少ないときに、マークをつけた。	ー
「温度保護回路がはたらきました。」	地図ディスクプレーヤーの温度が上昇した。	温度が下がるまで本機の電源を切ってお待ちください。
「現在地付近の地図がありません。」	お使いになっている地図ディスクに収録されていない地域に自車の現在地がある。	自車の現在地の収録されている地図ディスクをお使いください。
「この縮尺はありません。自動変更します。」	• お使いになっている地図ディスクに収録されていない縮尺の地図を選んだ。 • 地図が自動スクロールして、それまでの縮尺の地図がない地域になった。	本機は自動的に地図の縮尺を変更し、広域な地図を選んで表示します。
「システムエラー　リセットボタンを押してください。」	何らかの原因で、本機が動作できなくなった。	地図ディスクプレーヤーの⏏ボタンまたはリセットボタンを押してください。
「指定された最寄りランドマークを表示することができません。」	メモリーが足りない。	一度電源を切るか、場所を変えてもう一度最寄り表示を行ってください。
「指定されたランドマークが周辺にありません。」	指定したランドマークが周辺にない。	カーソル位置を移動して改めて「最寄り表示」操作をしてください。㊹
「設定した自宅の地図がありません。」	設定したときの地図ディスクと異なる地図ディスクを使用していて、そのディスクにマークをつけた地域が収録されていない。	設定されている自宅、経由地、目的地が収録されている地図ディスクをお使いください。
「地点を設定した地域の地図がありません。」	• 緯度/経度が正しい数値で入力されていない。 • 入力された緯度/経度の地域が収録されていない地図ディスクを使用している。	• 正しい数値を入力してください。㊿ • 入力された緯度/経度の地域が収録されている地図ディスクをお使いください。
「ディスクを入れてください。」	地図ディスクプレーヤーにディスクが入っていない。	ディスクを入れてください。❺

メッセージ	原因	処置
「ディスクをとりだしてご確認ください。」	• ディスクを裏返しに入れたときや、ディスクが汚れている。	• ディスクの表裏を確認して入れてください。汚れている場合は、別売りのクリーニングクロスなどでディスクをきれいにしてください。102
	• 結露した。	• ディスクを取り出して放置しておけば約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。103
「ディスクフォーマットエラー」	ナビゲーションシステム研究会統一規格以外のディスクを入れた。	ナビゲーションシステム研究会統一規格のディスクをお使いください。
「ディスクを取り出して、リセットボタンを押してください。」	何らかの原因で、本機が動作できなくなった。	地図ディスクプレーヤーの⏏ボタンまたはリセットボタンを押してください。
「マークをつけた地域の地図がありません。」	マークをつけたときの地図ディスクと異なる地図ディスクを使用していて、そのディスクにマークをつけた地域が収録されていない。	マークをつけた地域が収録されている地図ディスクをお使いください。
「マーク250個すべてつけました。」	地図にマークを250個つけた。	250個以上のマークはつけられません。
「これ以上マークをつけられません。マークをつけるには、不要なマークを消去してください。」	地図にマークが250個ついているときに、さらにマークをつけようとした。	不要なマークを消去してから、新しいマークをつけてください。66
「ルートを設定してください。」	ルートが設定されていないときに、ルートガイド「開始」を選択した。	ルートを設定してください。18
「GPSデータエラー」	本機は、GPS衛星の軌道データを常に本体にメモリーしておくことで、測位スピードを速めているが、その軌道データのメモリーが何らかの原因で消えてしまい測位できない。	車のイグニッションスイッチをON位置にしたときや、本機を動作したときに、このメッセージが何度も出る場合は修理が必要です。それ以外の場合には、見晴らしの良いところで本機を動作させて約20分ほどすると測位できます。
「システムエラーが発生しました。お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご相談ください。」	本機に何らかの異常が発生した。	本機をお買い上げ店、またはソニーサービス窓口にお持ちください。



故障かな？と思ったら

●のページに詳しい説明があります。

症状	原因および処置
現在地ボタンを押しても自車の現在地を表示しない。	• 障害物の影響でGPS衛星の電波を受信できない。→見晴らしの良い場所に移動してください。 • 受信可能なGPS衛星の数が少ない。→システムメニューの「情報」から「測位情報」を選び、受信可能なGPS衛星の数を調べてください。73 • GPSアンテナの取り付け場所が悪い。→なるべく車のボディによって電波をさえぎらない場所に、水平にアンテナを取り付けてください。（別冊の「取り付けと接続」説明書をご覧ください。） • GPSアンテナと地図ディスクプレーヤーの接続不良。→アンテナケーブルのコネクターを確実に（カチッと音がするまで）地図ディスクプレーヤーに接続してください。（別冊の「取り付けと接続」説明書をご覧ください。）
経由地や目的地に近づいても、アラーム音が鳴らない。	• 音声ガイドの設定が「しない」になっている。→設定を「フル」にしてください。 •「システムの設定」をご覧ください。77
経由地や目的地に近づいても、音声案内が聞こえない。	• 音声ガイドの設定が「しない」になっている。→設定を「フル」にしてください。77 • ご使用のモニターの音量が最小になっている。→ご使用のモニターの音量調節で適当な音量にしてください。 •「システムの設定」をご覧ください。77 •「目的地まで道案内させる」をご覧ください。12
〝詳細地図〟が表示されない。	• 地図ディスクに〝詳細地図〟のデータが入っていない。→〝詳細地図〟の入っているナビ研S規格対応の地図ディスクをお求めください。 • ナビ研S規格以外の地図ディスクを使用している。→〝詳細地図〟の入っているナビ研S規格対応の地図ディスクをお求めください。
推奨ルートが表示されない。	• ルート探索の結果がない。→ルート探索を行ってください。18 • 〝詳細地図〟を表示している。→広域地図を表示してください。9 • ルートガイドが「OFF」になっている。→ルートメニューで「ガイド開始」を選択してください。37
自車の現在地表示が実際に走行中の道路と一致しない。	• GPS衛星からの電波の誤差が大きい。（GPS衛星からの電波は、最悪時で数百メートルの誤差があります。）73 • 自律航法/マップマッチングの誤差が生じている。→しばらく走行すると正しい測位をします。75

症状	原因および処置
マップマッチングが働かない。	マップマッチングに対応した道路データが収録された地図ディスクを使用していない。→マップマッチングに対応した地図ディスクを使用する。102
モニターに何も表示しない。	ご使用のモニターと地図ディスクプレーヤーの接続不良。→モニターと地図ディスクプレーヤーを確実に接続してください。(別冊の「取り付けと接続」説明書をご覧ください。)
メニューが表示されない。	安全のため、走行中は走行メニューのみ表示されます。 パーキングブレーキを引いて車が停車しているときのみ、メニューの複雑な操作ができるようになっています。
リモコンのボタンを押しても反応しない。	• リモコンの信号がリモコン受光部に届いていない。→リモコンの発光部をリモコン受光部に向けて操作してください。 • リモコンの乾電池が消耗している。→乾電池を交換してください。108
IISなどの音声が出ない。	モニターの音量が最小になっている。→ご使用のモニターの音量調節で適切な音量にしてください。
本機が動作しない。	地図ディスクプレーヤーのリセットボタンを押してください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

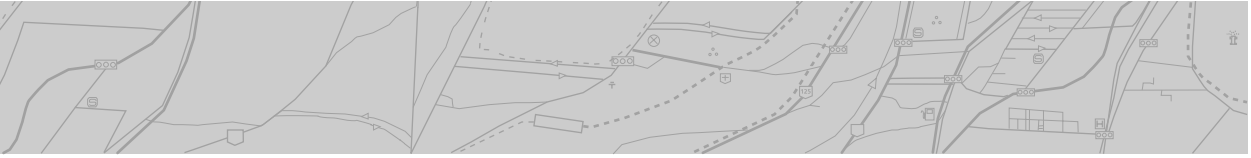
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではナビゲーションシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。



主な仕様

本体（地図ディスクプレーヤー部、GPSレシーバー部、グラフィックコントロール部）

動作温度　－10℃～＋50℃
電源　DC12Vカーバッテリー（マイナスアース）
消費電流　約1A

GPSレシーバー

受信周波数　1,575.42MHz（C/Aコード）
受信感度　－130dBm
測位更新時間　約1秒

地図ディスクプレーヤー部

ナビゲーションシステム研究会統一フォーマット
入力端子　GPSアンテナ接続端子
ビーコンユニット接続端子
コミュニケーションIN/OUT接続端子
出力端子　モニター接続端子

GPSアンテナ

動作温度範囲　－30℃～＋75℃
防水方式　防噴流仕様
マイクロストリップ平面アンテナ

モニター/TVチューナーユニット

XTL-610（NVX-FW1のみ）

自律航法ユニット(内蔵)

検出方式　圧電振動ジャイロ

外形寸法（幅×高さ×奥行き）

本体　約178×50×172mm（突起部含まず）
リモコン（ナビゲーションシステム用）
約40×28×128mm
リモコン（TV用）　約62×25×115mm（NVX-FW1のみ）
GPSアンテナ　約50×15×52mm
モニター　約162×129×31mm（NVX-FW1のみ）
TVチューナーユニット
約202×30×140mm（NVX-FW1のみ）
TVアンテナ　約191.7×26×43.6mm（NVX-FW1のみ）
TVアンテナコード　5m　75Ω×4（ミニプラグ付き）（NVX-FW1のみ）

質量

本体　約1.5kg
リモコン（ナビゲーションシステム用）
約100g（乾電池含む）
リモコン（TV用）　約100g（乾電池含む）（NVX-FW1のみ）
GPSアンテナ　約100g
モニター　約430g（NVX-FW1のみ）
TVチューナーユニット
約750g（NVX-FW1のみ）
TVアンテナ　約290g（NVX-FW1のみ）

付属品

リモコン（ワイヤレス）
GPSアンテナ
モービルカラーTV（NVX-FW1のみ）
地図ディスク（一式）
取り付け／接続部品（一式）
取扱説明書（一式）
ソニーご相談窓口のご案内（1）
保証書（1）

別売り品

VICS対応ビーコンユニット
NVA-VB1
PDCインターネットユニット
NVA-W1C
電源延長コード　RC-129P（NVX-W1のみ）
接続コード（ビーコンユニット用）
RC-131
XTL接続コード（NVX-W1のみ）
RC-302（XTL-770W/77V用）
RC-303（XTL-750W/75V/610用）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

用語集

実際の操作などに関して、詳しくは●内のページをご覧ください。

自律航法について ⑦⑤
GPS衛星からの電波が正しく受信できないとき、自律センサーの働きによって自車位置を検出し、地図画面上に表示する機能です。
正確な測位のためには、車速センサーおよびバックセンサーを正しく取り付ける必要があります。詳しくは取付説明書および接続説明書をご覧ください。

マップマッチング ⑦④
誤差によって実際に走行している道路からはずれて自車マークが表示される場合、そのずれを補正して必ず道路上に自車マークを表示させる機能です。この機能は、使用する地図ディスクにマップマッチング用の道路データが存在するときのみ働きます。

GPS(Global Positioning System) ⑦③
このシステムはGPS衛星(人工衛星)から地上に放射される位置測定用の電波を利用して、利用者の現在地(緯度・経度・高度)を知ることができるシステムです。地球の周り高度約21,000kmにはGPS衛星が米国国防総省によって打ち上げられています。これは主として軍事利用のためのものですが、民間用にもその使用が開放されています。

時計表示
GPS衛星には原子時計が搭載されていて、正確な時刻信号電波を送信しています。本機動作中はこの時刻信号電波を受信しています。本機はこのデータをもとに正確な時刻を表示することができます。

測位(Positioning) ⑦④
3個以上のGPS衛星からの電波を受信して、自車の現在地を測定することです。本機は、測位した自車の現在地を地図上に表示します。2個以下のGPS衛星の電波しか受信できないときは、現在地を測位できません。

軌跡 ⑦②
地図上で、自車がそれまでに走ってきた道につく印(点)です。本機では、現在地表示画面やナビゲーション画面で、最大1000ポイント(点表示)の軌跡を表示します。
(本機は地図の縮尺に合わせて、見やすい間隔で軌跡を表示するので、広域な地図では1000ポイントまで表示されません。)

IIS(Integrated Information Services) ⑤①
ナビゲーションシステム研究会の共通規格に基づいた、ドライブ情報提供プログラムのことです。
IISのドライブ情報の内容は、お使いになる地図ディスクにより異なりますが、どの地図ディスクをお使いになっても、同じ操作でIISのドライブ情報を見ることができます。(IISが収録されていない地図ディスクもあります。詳しくは、地図ディスクのカタログや取扱説明書をご覧ください。)

合成音声
本機では「規則音声合成方式」によって音声を合成し、出力しています。これは、ひらがな1文字にあたる短い音声信号を、言葉に合わせて順々につないでいく方法です。声の抑揚や話す速度も、その言葉に最も合うように自動的に作成し、音声を合成していきます。
従来のように録音した音声を再生する方式と違い、地図ディスクに収録されているほとんどの地名や交差点名を読み上げたり、目的地までの距離や現在の時刻を声でお知らせしたりすることができます。

VICS(Vehicle Information and Communication System) ⑦⑨
VICSとは、最新の道路交通情報をドライバーにリアルタイムに提供する官民学共同の道路交通情報通信システムです。

DGPS**機能** ⑦⑧
GPS衛星からの信号に加え、(株)衛星測位情報センターがFM多重放送を使って提供するGPS補正データを受信し、測位精度を向上させる機能です。また、自動サーチにより常に受信状態の良い周波数を選局します。

機能別索引

ここでは、操作したい目的別に、機能名と参照ページを紹介しています。

操作の目的	機能名	参照ページ
地図画面になっているときの機能		
地図を北上に固定する	ノースアップ	23
自車マークを固定して地図を回転させる	ヘディングアップ	23
地図を3Dビュー画面にする	3Dビュー	22
3Dビュー画面の角度を調整する	3D角度設定	89
自分で地図を動かす	スクロール	8
自宅を登録する	マーク編集／自宅	9
目的地を設定する	目的地設定	18
覚えておきたい場所をマークする	マーク設定	19
最寄りのコンビニなどを探す	最寄り検索	20
＋マークが指マークになった場所の情報を見る	地図情報の表示	24
マークや走行軌跡などを表示する／しない	地図情報設定	72
常に交差点名などを表示して、音声ガイドを行う	フルタイムルートガイド	78
地図画面の夜／昼モードを自動的に切り換える	地図カラー自動切り替え	78
画面の中心位置を微調整する	画面位置調整	91
登録したマークを編集するときの機能		
名前を変える	マーク編集「名称」	67
音声ガイド時の読みを設定する	マーク編集「読み」	67
電話番号を登録する	マーク編集「電話番号」	69
マークの分類を変える	マーク編集「種別変更」	70
シンボルを変更する	マーク編集「シンボル変更」	71
ルート探索時の機能		
目的地、経由地、出発地を決める	ルート設定	25
ルート探索を始める	探索開始	30
複数のルートを探す	複数ルート探索	31
設定したルートを呼び出す	ルート呼び出し	32
呼び出したルートの設定内容を見る	ルート情報の表示	34
出発地に戻る	帰路探索	34
高速道路やフェリーなどを使用する／しない	探索条件の設定	35
通常はルート探索の対象にならない細い道も探索する	細街路探索	78
ルートガイド中の機能		
ルートガイドを中止する／再開する	ガイド終了／開始	37
交差点での進路を拡大表示する	交差点拡大	39
走行中の高速道路の情報を見る	ハイウェイマップ	41
高速道路の分岐点での進路を拡大表示する	ジャンクションガイド	40
高速道路の出口での進路を拡大表示する	ランプガイド	40
音声でルートガイドする	音声ガイド	38
ルートから外れたとき、ルートに戻る	リルート	39
ルート設定した地点までの直線距離と方向を表示する	シンプルガイド	39
残りのルートを確かめる	ガイドルートスクロール	40

機能別索引

操作の目的	機能名	参照ページ
目的地を探すときの機能		
最寄りのコンビニなどを探す	最寄り検索	44
登録した自宅マークなどを探す	マーク検索	46
電話番号で探す	電話番号検索	47
住所で探す	住所検索	48
施設名などから探す	施設検索	12
緯度経度から探す	緯度経度探索	50
いろいろな情報から探す	IIS検索機能	51
VICSで交通情報を見ているときの機能		
受信できるVICS局を探す	VICS交通情報	52
図形情報を見る	VICS図形情報	54
文字情報を見る	VICS文字情報	55
進行方向に渋滞があるとき、改めてルート探索する	渋滞回避リルート	39
内蔵VICSユニットの初期設定を行う	VICS設定	79
VICSについて		104
FM文字多重放送を受信するときの機能		
FM文字多重放送を見る	FM文字多重	56
プリセット局を選ん選局する	FM多重選局	85
自動選局する／手動選局する	選局パネル	86
受信局をプリセットリストに登録する	選局パネル／リスト選択	87
インターネットを見ているときの機能		
MobileLinkホームページを見る	「インターネット」	57
初めてのホームページを見る	URLの入力	59
ホームページのURLを登録する	ブックマーク登録	60
登録済みのホームページを見る	ブックマーク選択	60
過去のページに戻る	ヒストリー	61
画像のサイズや文字コードを切り換える	表示切り換え	62
インターネットを設定する	インターネット設定	92
テレビを見るときの機能		
リモコンで選局する	自動選局	98
音量を調節する	音量調整	98
本機の動作を設定するときの機能		
GPS衛星の受信状態を見る	測位情報	73、74
自律航法機能の動作を確認する	システム情報	75
地図ディスクの情報を見る	ディスク情報	76
よく使う機能をカスタムメニューに登録する	カスタム設定	82
モニター画面を設定する	モニター設定	84
自車位置を修正する	自車位置修正	90

索引

五十音順

ア行

アクセス ..... 59～61
アクセント入力 68
アドレス ..... 59、61
インターネット ... 57、92
インフォレイヤ 24
迂回設定 66
英数入力 ..... 59、63、67

音声
ガイド ..... 38、78
リモコン操作音 78

カ行

ガイド
音声 38
フルタイムルート 78
矢印 38
ルート ..... 14～18、25
ルートスクロール 40
シンプルガイド 39
終了 37

拡大機能
交差点 39
ジャンクション 40
ランプガイド 40

過去のページ 61

カスタム設定 82

カスタムメニュー 83

画面位置調整 91

距離優先 35

帰路探索 34

緊急情報 88

経由地の設定 26

消す
音声 78
マーク 66
全地点 29

決定メニュー 18
インフォレイヤ 24
スタンダードビュー 22
3Dビュー 22
ノースアップ 23
マーク設定 19
目的地設定 18
最寄り検索 20
ヘディングアップ 23

検索メニュー 44
緯度経度 50
施設 ..... 12、50
住所 48
電話番号 47
最寄り 44
IIS 51

現在地を表示する 8

広域地図 9

交差点拡大機能 39

高速道路優先 35

高度 74

項目リスト 45

サ行

細街路探索 78

サウンド変更 71

サーチ 81

サービスエリア情報 106

ジャンクションガイド 40

自宅に帰る 15

自宅を登録する 9

自宅を呼び出す 15

自車
位置 8
マーク 8

システムメニュー 65
インターネット設定 92
カスタム設定 82
画面位置調整 91
システム設定 77
システム情報 75
自車位置修正 90
3D角度設定 89
測位情報 74
地図情報 72
ディスク情報 76
マーク編集 ..... 65～72
モニター設定 84
FM多重選局 ..... 85、86
VICS設定 79
VICS選局 ..... 80、81

車種設定 80

車速パルス 75

渋滞回避設定 35

渋滞回避リルート . 39、106

受信状態表示 52

出発地の設定 ..... 25、28

周波数入力画面 ..... 81、87

種別リスト 70

詳細地図 102

情報メニュー 52
インターネット 57
FM文字多重 56
VICS交通情報 52
VICS図形情報 54
VICS文字情報 55

所要時間 34

自律航法 75

自律センサー 75

新規ルート 25

シンプルガイド 39

推奨経路設定 35

スクロール 8

スタンダードビュー 22、89

3Dビュー 22

セーフティー 75

選局
自動選局 86
手動選局 86
パネル ..... 86、87
全地点消去 29
走行軌跡 72
測位 74

タ行

ダウンロード ..... 24、58
地図の拡大/縮小 9
地図カラー自動切り換え ... 78
地図情報設定 72
地図ディスク
入れる 5
お手入れ 102
経路探索データ 37
使用できる
地図ディスク 101
情報を見る 76
チャイム ..... 80、106
通話 ..... 47、66
次ボタン 54
定型 59
ディスク情報 76
電話番号設定 .. 66、69、92
電話番号入力 .. 47、69、93
点滅表示 80
都道府県名検索 48
ドライブ情報 73

ナ行

ネットスタンプ ..... 24、73
ネットワークサーチ . 80、81
ネームサーバー 95
ノースアップ 23

ハ行

ハイウェイマップ機能 41
パーキングエリア情報 .. 106
8行表示 80
バックセンサー 75
番組番号ボタン ..... 52、53
番号旗マーク 27
ビーコンユニット 106
ヒストリー 61
表示切り換え
エリア 53
走行軌跡 73
マーク 73
最寄りマーク 73
フェリー優先 35
複数探索 31
ブックマーク ..... 60、61
プリセット局 85
プリセットリスト ... 85〜88
フルタイムルートガイド ... 78
プロクシーサーバー . 95、96
プログラム 75
プロバイダー ..... 57、92
ページ送りマーク 53
ページ切り換え 58
ヘディングアップ 23
保存指定 33
ポップアップ設定 80
ポップアップ時間 80
ポート ..... 95、96
ホームページ 58

マ行

間合い入力 68
マーク
消す 66
サウンド 71
シンボル呼び出す 66
種別 70
つける 19
電話番号 69
編集 ..... 65〜72
名称 67
呼び出す 46
読み 67
リスト 66
マップマッチング 74
道案内
流れ ..... 16、17
帰り道の道案内 ... 15、34
道案内させる ..... 14、20
道のり総距離 ..... 34、37
道幅優先 35
見る
現在地 8
地図ディスクの情報 76
テレビ 98
ハイウェイマップ 41
マーク位置 46
ルート 32
GPS衛星の受信状態 ... 73
メニュー
選びかた ..... 6、7
カスタムメニュー 82
決定メニュー 18
検索メニュー 44
システムメニュー 65
種類 103
情報メニュー 52
使いかた ..... 6、7
ルートメニュー 25
目的地の設定 25
目的地マーク 26

文字コード 62
文字情報リスト画面 55
モニター設定 84
モバイルリンク 57
最寄り検索 44
最寄りマーク ..... 20、73

ヤ行

矢印ガイド 38
指マーク .20、24、57、58
ユーザーID ..... 63、93

ラ行

ランプガイド機能 40
リモコン
カスタムボタンへの
登録 82
使いかた ..... 6、7
ボタンの説明 ..... 6、7
リルート機能 39
渋滞回避
リルート ..... 39、106
リンク先 58
ルート
現在のルート 35
新規作成 ..... 25〜29
選択ボタン 31
探索 ..... 30、31
探索条件変更 35
外れたとき 39
複数ルート ..... 31、36
編集 33
保存指定 33
呼び出し 32
ルートについて 42
ルート名 ..... 32、33
ルートガイド
流れ ..... 16、17
種類 38
シンプルガイド 39
通常のルートガイド 38
フルタイム
ルートガイド 38
ルートガイドを
させる ..... 14、15、20
便利な機能 38
ルート探索
一般道路優先 83
高速道路優先 83
再探索 83
自宅ルート 83
別ルート 83
ルートの設定
全地点消去 29
探索開始 30
複数探索 31
ルートメニュー
ガイド開始 37
ガイド終了 37
帰路探索 34
探索条件 ..... 35、36
ルート情報 34
ルート設定 ..... 25〜30
ルート呼出 32

アルファベット

DGPS優先受信 78
FM駐車場情報 55
FM文字多重 56
FM SAPA情報 55
GPS衛星 73
IIS 51
MobileLinkホームページ .57
URL ..... 59、60
VICS
選局レベル 105
レベル1〜3 105
VICSについて 104
VICSの設定 79
VICS交通情報 52
VICS図形情報 54
VICS文字情報 55

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

●東京(03)5448-3311●名古屋(052)232-2611●大阪(06)539-5111

I-3-865-157-01 (2)

Printed in Japan